

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 1次冷却材喪失事象が発生している場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響					
				直後	A直流電源を 延命した場合					B直流電源を 延命した場合	直後		A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替 停機 操縦 運転	格納容器再循環サンブス ライン閉塞の撤去が見ら れた場合の手順	高圧注入流量	2(2)	1	1	①	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3		
			加圧器水位	4(2)	2	1		①	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3	
			原子炉容器水位	1	1	1		①	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3	
		充てん流量	1	0	0	②	—	格納容器再循環サンブ水位 (広域)	2(2)	2	1	1	1	ケース 3	
			加圧器水位	4(2)	1	1		②	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	ケース 3
			原子炉容器水位	1	1	0		②	加圧器水位	4(2)	4	1	1	1	ケース 3
	低圧注入流量	—	2(2)	1	1	①	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	ケース 3	
								加圧器水位	4(2)	2	1	1	1	1	ケース 3
								原子炉容器水位	1	2	1	1	1	1	ケース 3
								格納容器再循環サンブ水位 (広域)	2(2)	2	1	1	1	1	ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
1次冷却材喪失事象が発生している場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	バウンダリ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合				
代 替 手 順 運 転	操 作	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	—	—	—	2	2	1	1	ケース 3	
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	4	4	1	1	ケース 3
		原子炉補機冷却水サージ タンク圧力(AAM用)	1	1	1	1	②	—	—	—	1	1	1	1	ケース 1
		C、D—格納容器再循環 ユニット補機冷却水流量	2	2	2	2	②	—	—	—	2	2	0	2	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	—	—	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2	2	0	2	①	—	—	—	2	2	1	1	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	2	2	0	2	①	—	—	—	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2	2	0	2	①	—	—	—	2	2	1	1	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	—	—	4	4	1	1	ケース 1
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	—	—	1	1	0	0	ケース 1
格納容器内温度	2(2)	2	2	2	②	—	—	—	2	2	1	1	ケース 6		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
1次冷却材喪失事象が発生している場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称 ()内はPAM	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合	計器名称 ()内はPAM	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合			
代替 手順 運 転	格納容器再循環ポンプス クローズ 関連の故障が見ら れた場合の手順	格納容器再循環サンプ水 位(広域)					2	1	1	ケース 1		
		原子炉下部キャビティ水 位					1	1	0	1	ケース 1	
		格納容器水位					1	1	0	1	ケース 1	
		燃料取替用水ピット水位	2(2)		2	1	1	2	1	1	ケース 2	
		補助給水ピット水位						2	2	1	ケース 2	
		E—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)						1	1	0	1	ケース 2
		代替格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量						1	1	0	1	ケース 2
		燃料取替用水ピット水位						2	2	1	1	ケース 2
		補助給水ピット水位						2	2	1	1	ケース 2
		E—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)						1	1	0	1	ケース 2
代替格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量						1	1	0	1	ケース 2		
格納容器再循環サンプ水 位(広域)						2	2	1	1	ケース 2		
E—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)						1	1	0	1	ケース 2		
高圧注入流量						2(2)	2	2	1	ケース 2		
低圧注入流量						2(2)	2	2	1	ケース 2		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	バックアップ電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合				
代替 停機 操縦 運転	格納容器再循環ポンプ系 ライン閉塞の撤去が見ら れた場合の手順	1次系純水タンク水位	1	1	0	0	—	—	燃料取扱器用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		2次系純水タンク水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	
		使用済燃料ピット水位	2	2	0	0	—	—	使用済燃料ピット水位(A M用)	2	2	0	0	2	—
		ほう酸タンク水位	2(2)	2	1	1	—	—	使用済燃料ピット水位(A M用)	2	2	0	0	2	—
		体積制御タンク水位	2	2	0	0	③	—	—	使用済燃料ピット水位(可 搬型)	2	0	0	2	*1
		ほう酸補給ライン流量制御	1	1	0	0	③	—	—	燃料取扱器用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		ほう酸補給ライン流量計算 制御	1	1	0	0	③	—	—	充てんポンプ操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—
		1次系純水補給ライン流 量制御	1	1	0	0	③	—	—	ほう酸ポンプ操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—
		1次系純水補給ライン流 量積算制御	1	1	0	0	③	—	—	ほう酸ポンプ操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	1次系補給水ポンプ操作 器表示(運転状態)	—	—	—	—	—
										1次系補給水ポンプ操作 器表示(運転状態)	2(2)	2	1	1	—

全、すべてのループの計器の合計数
 A(B,C): 当該ループの計器数
 *1 計器取り付け後監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合		
代替 措置 継続 運転	操作	主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6	
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	0	ケース 6	
		補助給水流速	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	1 (B)	ケース 3
		高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	0	0	0	0	0	0	—
	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	0	0	0	0	—	
	余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	0	0	0	0	—	
	高圧注入ポンプ水位	2(2)	2	2	1	2	2	1	1	ケース 3	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	ケース 3	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 3	
	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	③	③	③	③	③	③	③	③	—
余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	③	③	③	③	③	③	③	③	—	
余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	③	③	③	③	③	③	③	③	—	

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電流を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電流を 延命した場合	
代替炉心注水 代替格納容器スプレイポン プによる代替炉心注水 判断基準	圧幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	圧幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—
	後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	—	—	—	—
	甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	4(2)	4	1	—
	6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	1	甲, 乙母線の受電状態を監視するパ ラメータ	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却水流量	8	8	0	4	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	—	—	—	—
						原子炉補機冷却器本系の運転状態を 確認するパラメータ	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価							
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合		B:直流通過を 延命した場合						
代替 炉心 注水	判断基準	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	4	4	0	0	ケース 1			
		1次冷却材圧力(広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	3(3)	3 (全)	3	3 (全)	0	0	ケース 6	
		1次冷却材圧力(広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	3(3)	3 (全)	3	3 (全)	0	0	ケース 6	
		原子炉容器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	1	1	ケース 1	
		サブクール度	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	0	0	0	ケース 6	
		1次冷却材圧力(広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	2	1	1	1	ケース 6	
		1次冷却材圧力(広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	3(3)	3 (全)	3	3 (全)	0	0	ケース 6	
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	2	1	1	1	ケース 1	
		原子炉下部キャビティ水位	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	0	0	1	1	ケース 1
		格納容器水位	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1	0	1	1	ケース 1
代替格納容器スプレイト注水	判断基準	燃料取扱器サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	2(2)	2	2	1	1	1	ケース 2	
		補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	2	1	1	1	ケース 2	
		B-格納容器スプレイト冷却器出口循環流量(AM用)	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	0	1	1	ケース 2	
		代替格納容器スプレイトサンプ出口積算流量	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	0	1	1	ケース 2	
燃料取扱器サンプ水位	—	—	—	—	—	—	—	—	2(2)	2	2	1	1	1	1	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パワメータを計測する計器				抽出パワメータの代替パワメータを計測する計器				評価					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合						
代 替 心 注 水	判 断 基 準 B-冷却ポンプ(自己冷 却)による代替冷却心注水	圧幹線 1L, 2L 電圧	2	2	0	0	3	知幹線 1L, 2L の受電状態を監視する パワメータ	圧幹線 1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L 最終遮断警報	—	—	—	—		
		後志幹線 1L, 2L 電圧	2	2	0	0	3	後志幹線 1L, 2L の受電状態を監視す るパワメータ	—	—	—	—	—		
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	3	甲, 乙母線の受電状態を監視するパワ メータ	—	4(2)	4	1	—	—	
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	1	3	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパワメータ	—	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	3	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパワメータ	—	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却水流量	8	8	0	4	3	原子炉補機冷却水系の運転状態を 確認するパワメータ	—	—	—	—	—	—	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	1	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	1	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	1	—	—	加圧器圧力	4	4	0	0	ケース 1
										1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
										1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合 B:直流通過を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合 B:直流通過を 延命した場合						
代替 如心 注水	判断 基準	加圧器水位	4(2)	4	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	ケース 1		
		格納容器水位	—	—	—	—	—	—	サブクーラ度	1	1	0	ケース 6		
		1次冷却材圧力(広域)	—	—	—	—	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	ケース 6		
		1次冷却材速度(広域-高 温側)	—	—	—	—	—	—	1次冷却材速度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3	0	ケース 6	
		燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		加圧器水位	1	1	1	0	1	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3
		原子炉容器水位	—	—	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	—	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
		格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	—	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	1	ケース 1
代 替 如 心 注 水	—	格納容器水位	—	—	—	—	—	—	原子炉下卸キヤピティ水 位	1	1	0	1	ケース 1	
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2	
		補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2	
		B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	0	1	—	B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1	ケース 2	
代替格納容器スプレイサ ンプ出口積算流量	—	—	—	—	—	—	—	代替格納容器スプレイサ ンプ出口積算流量	1	1	0	1	ケース 2		
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—		

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合		B.直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A.直流電源を 延命した場合	B.直流電源を 延命した場合
代 替 炉 心 注 水	操作	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	②	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	①	—	加圧器圧力	4	4	0	0	ケース 1
		原子炉容器水位	1	1	1	1	①	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
		サブクール度	1	1	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 1
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	①	—	サブクール度	1	1	0	0	ケース 6
		原子炉容器水位	1	1	1	1	①	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 6
		サブクール度	1	1	1	1	①	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
		計器名称 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合	B:直流通過を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合		B:直流通過を 延命した場合					
代替炉心注水 B-充てんポンプ自己冷却 炉による代替炉心注水	操作	先てん流量	1	1	0	0	②	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2	1	1	1	ケース 3	
		格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	2	1	1	1	ケース 1
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2	1	1	1	ケース 2
		B-充てんポンプ融冷却器及び封水冷却器流量	1	1	0	0	③	B-充てんポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	B-充てんポンプ運転状態(見場)	—	—	—	—	—
		B-充てんポンプ電動機機械冷却水流量	1	1	0	0	③	B-充てんポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	B-充てんポンプ運転状態(見場)	—	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	補助給水ピット水位	2	1	1	1	ケース 2
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	0	—	—	—	—	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	ケース 2
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	0	—	—	—	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	ケース 2
		格納容器再循環サンプ水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位(広域)	2	1	1	1	ケース 2
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	0	—	—	—	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	ケース 2

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合	B:直流通過を 延命した場合		
代 替 注 水	判 断 基 準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—		
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—		
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	加圧器圧力	4	4	0	0	—	
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		原子炉容器水位	1	1	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—	
		サブプール温度	1	1	1	0	—	—	サブプール温度	1	1	0	0	—	
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	0	—
		燃料取扱用ホット水位	2(2)	2	2	2	—	—	燃料取扱用ホット水位	2(2)	2	1	1	—	
加圧器水位	4(2)	4	1	0	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—			
原子炉容器水位	1	1	1	0	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—			
格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	—	—	格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—			

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合
代替 知心 注水	判 断 基 準	格納容器再循環サンプ水位(実感)						格納容器再循環サンプ水 位	2(2)	2	1	1
		原子炉下部キャビティ水位						原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	1
		格納容器水位						格納容器水位	1	1	0	1
		燃料取扱費用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	燃料取扱費用水ピット水 位	2(2)	2	1	1
		充てんライン圧力	1	1	0	—	充てんポンプ操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	
		燃料取扱費用水ピット水位	2(2)	2	1	—	燃料取扱費用水ピット水 位	2(2)	2	1	1	

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
代替 原子 炉注 水 B-格納容器スプレイトン 7(自己冷却)HRS-CS S導線ライン使用による代 替炉心注水	操作	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
		加圧器圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	加圧器圧力	4	4	0	0	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
		原子炉容器水位	1	1	1	1	①	—	サブクール度	1	1	0	0	—
		サブクール度	4(2)	4	1	1	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		1次冷却材圧力(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		加圧器水位	1	1	1	1	—	—	サブクール度	1	1	0	0	—
		原子炉容器水位	1	1	1	1	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		1次冷却材圧力(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
		炉心出口温度	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	
代替炉心注水	操作	B-格納容器スプレイド 量	1	1	0	0	—	燃料取扱替用木ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		B-格納容器スプレイド冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	1	—	格納容器再循環サンプ水 位(蒸気)	2(2)	2	1	1	—
	操作	B-格納容器スプレイド冷 却器出口積算流量(AM 用)	2(2)	2	1	1	—	燃料取扱替用木ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水 位(蒸気)	2(2)	2	1	1	—	格納容器再循環サンプ水 位(蒸気)	2(2)	2	1	1	—
		原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	1	—	原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	1	—
		格納容器水位	1	1	0	1	—	格納容器水位	1	1	0	1	—
		燃料取扱替用木ピット水位	2(2)	2	1	1	—	燃料取扱替用木ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		B-格納容器スプレイド冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	1	—	B-格納容器スプレイド冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	1	—
		代替格納容器スプレイド サンプ出口積算流量	1	1	1	1	—	代替格納容器スプレイド サンプ出口積算流量	1	1	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合	B:直流通過を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称		計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合	B:直流通過を 延命した場合
代替炉心注水	操作	燃料取扱替用水ホット水位	3(2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環サブ水 位(圧差)	3(2)	2	1	1	—
		B-1格納容器スプレイドン プ(自己冷却)(RHRS-CS 蒸発ライン使用)による代 替炉心注水					—	—	B-1格納容器スプレイド 量	1	1	0	0	—
		B-1格納容器スプレイドン プ電動補機冷却水流量	1	1	0	0	—	—	B-1格納容器スプレイド ン 運転状態(現場)	—	—	—	—	—
		B-1格納容器スプレイドン 冷却器冷却水流量	1	1	0	0	—	—	B-1格納容器スプレイド ン 運転状態(現場)	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合		B:直流通過を 延命した場合	
代替 炉心 注水	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	1	1	0	1*1	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	1	1	0	1*1	—
		加圧器圧力	—	—	—	—	—	4	4	0	0	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	2(2)	2	1	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	—	—	—	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		原子炉容器水位	—	—	—	—	—	1	1	1	1	—
		サブクール度	—	—	—	—	—	1	1	0	0	—
		加圧器水位	—	—	—	—	—	4(2)	4	2(2)	2	1
B-格納容器スプレイ流 量	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	4(2)	4	1	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		燃料長時加水ピット水位	—	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		加圧器水位	—	—	—	—	—	4(2)	4	1	1	—
		原子炉容器水位	1	1	0	—	—	1	1	1	1	—
格納容器再循環サンプ水 位(広域)	—	—	—	—	—	2(2)	2	2(2)	2	1	—	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合 B:直流通過を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合 B:直流通過を 延命した場合	
代替 心 注水	判断基準	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	—	燃料取扱若用水ピット水位	3(2)	2	1	1	—
			1	1	0	1	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
			2(2)	2	1	1	—	格納容器再循環ポンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水位	2(2)	2	1	1	—	原子炉下部キャビタ水位	1	1	0	1	—
			2(2)	2	1	1	—	格納容器水位	1	1	0	1	—
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	燃料取扱若用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
			2	2	0	0	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
								B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	—
								代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—

注:サブでのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合	B:直流通過を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合	B:直流通過を 延命した場合					
代替 炉心 注水	判断基準 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替炉 心注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3 (全)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1		
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	3 (全)	1	0	1*1	0	1 (全)	ケース 1	
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	①	—	加圧器圧力	4	4	0	0	0	0	ケース 1	
		加圧器水位	4(2)	4	1	①	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6
		原子炉容器水位	1	1	0	②	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	1	1	ケース 1	
		サブクール度	1	1	0	②	—	サブクール度	1	1	0	0	0	0	ケース 6	
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	①	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	1	1	ケース 6	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	0	ケース 6
		燃料長持用ホット水位	2(2)	2	1	①	—	燃料長持用ホット水位	2(2)	2	1	1	1	1	ケース 3	
B-格納容器スプレイ流 量	1	1	0	②	—	B-格納容器スプレイ流 量	1	1	0	4(2)	4	1	1	ケース 3		
														ケース 3		
														ケース 3		

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称 ()内はPAM	計器数 ()内はPAM	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合				
代 替 心 注 水	判 断 基 準	B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	0	1	—	燃料取扱群用水ピット水位	3(2)	2	1	1	ケース 3	
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3
						原子炉下部キャビタ水位	1	1	1	1	1	ケース 3	
						格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	2	2	1	1	ケース 3
						格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	2	2	1	1	ケース 1
						格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	1	1	1	1	0	1	ケース 1
						格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	1	1	1	1	0	1	ケース 1
						格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	2	2	1	1	ケース 2
						格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	2	2	1	1	ケース 2
						格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	1	1	1	1	0	1	ケース 2
						格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	1	1	1	1	0	1	ケース 2

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合 B:直流通過を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合 B:直流通過を 延命した場合		
代 替 如 心 注 水	判断 基 礎	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		如心出口温度	1	1	0	—	—	如心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		如心出口温度	1	1	0	—	—	如心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		加圧器圧力	4	4	0	—	—	加圧器圧力	4	4	0	0	—	
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—
		原子炉容器水位	1	1	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
		サブクール度	4(2)	4	1	1	—	—	サブクール度	1	1	0	0	—
		加圧器水位	1	1	1	1	—	—	加圧器水位	2(2)	2	1	1	—
代替格納容器スプレイン プ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	代替格納容器スプレイン プ出口積算流量	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—		
燃料長母用水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	燃料長母用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—		
補助給水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—		
加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—		
原子炉容器水位	1	1	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—		
格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	2	2	—	—	格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—		

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合			B:直流電圧を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	
代替給水ピットを本組とした可搬型大型送水ポンプ車による代替炉心注水	判 断 基 準	B-格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	—	—	—	—
			1	1	0	1	—	—	—	—	—	—
			2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—
	燃料取扱替用本ピット水位	格納容器再循環サンプ水位(5%)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—
			4(2)	4	1	0	—	—	—	—	—	—
			1	1	1	1	—	—	—	—	—	—
			2(2)	2	2	1	—	—	—	—	—	—
			3(2)	3	2	1	—	—	—	—	—	—
			4(2)	4	4	1	—	—	—	—	—	—
			1	1	1	1	—	—	—	—	—	—
燃料取扱替用本ピット水位	格納容器再循環サンプ水位(5%)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	
		2(2)	2	2	1	—	—	—	—	—	—	
		2(2)	2	2	1	—	—	—	—	—	—	
燃料取扱替用本ピット水位	格納容器再循環サンプ水位(5%)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	
		2(2)	2	2	1	—	—	—	—	—	—	
		2(2)	2	2	1	—	—	—	—	—	—	
燃料取扱替用本ピット水位	格納容器再循環サンプ水位(5%)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	
		2(2)	2	2	1	—	—	—	—	—	—	
		2(2)	2	2	1	—	—	—	—	—	—	
燃料取扱替用本ピット水位	格納容器再循環サンプ水位(5%)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	
		2(2)	2	2	1	—	—	—	—	—	—	
		2(2)	2	2	1	—	—	—	—	—	—	
燃料取扱替用本ピット水位	格納容器再循環サンプ水位(5%)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	
		2(2)	2	2	1	—	—	—	—	—	—	
		2(2)	2	2	1	—	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合						
代 替 知 心 注 水	判 断 基 準 原水槽を水源とした可搬型 大型注水ポンプによる代 替知心注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1		
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	0	ケース 1	
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	加圧器圧力	4	4	4	0	0	ケース 1
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	1	ケース 1
		燃料長母用水レベル水位							サブプール度	1	1	1	0	0	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	—	燃料長母用水レベル水位	2(2)	2	2	1	1	ケース 3
		補助給水レベル水位							補助給水レベル水位	2(2)	2	2	1	1	ケース 3
		加圧器水位	1	1	1	1	—	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	1	ケース 3
		原子炉容器水位	1	1	1	1	—	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	1	ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

1 次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合		
代 替 注 水 原水槽を水源とした可搬型 大型送水ポンプ車による代 替炉心注水	判 断 基 準	B-格納容器スプレイ流 量	1	1	0	0	—	—	—	2	1	1	—		
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等

1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通電を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流通電を 延命した場合
全交流電力 電源喪失事 象と1次冷却 材喪失事象 が同時に発 生した場合 A→減圧注 入ポンプ(降 水冷却)に る前注代替 手順開始時	拍幹線1L, 2L電圧	2	2	0	③	拍幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	拍幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	—
	後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—	—
	甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラ メータ	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	—
	6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	M/C主機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—
1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	3 (全)	ケース 1
							炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1
							1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
							炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合	
代 替 系 機 能 喪 失 時 の 手 順	全交流電力 電源喪失事 象と1次冷却 材喪失事象 が同時に発 生した場合	格納容器再循環サン プ水位(家蔵)	2(2)	2	1	1	1	1	ケース 1	
		原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	1	1	1	ケース 1	
判 断 基 準	A-高圧注 入ポンプ(冷 水冷却)に上 る高圧代替 系循環運転	格納容器水位	1	1	0	1	1	1	ケース 1	
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	1	ケース 2	
全: A(B,C):当該ループの計器数	A-高圧注入ポンプ及び 油冷却器機冷却水流 量 A-高圧注入ポンプ電動 機冷却身水流量	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	1	ケース 2	
		B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1	1	1	ケース 2	
		代替格納容器スプレイポ ンプ出口積算流量	1	1	0	1	1	1	ケース 2	
		A-高圧注入ポンプ操作 器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	—	—	
		高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	③	③	1	1	1	—		
		高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	③	③	1	1	1	—		

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合					
交代 給 水 機 運 転 全交流電力 電源喪失事 象と1次冷却 材喪失事象 が同時に発 生した場合 A-高圧注 入ポンプ(高 水冷却)に上 高圧代替 所備機運転	操作	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	0	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	1	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		原子炉容器水位	4(2)	4	1	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	0	3 (全)	ケース 1
		加圧器水位	1	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	1	ケース 1
		サブグループ度	2(2)	2	2	—	—	サブグループ度	1	1	0	0	0	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	1	ケース 6
		加圧器水位	4(2)	4	1	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	0	ケース 6
		サブグループ度	1	1	1	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	1	ケース 1
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	—	—	サブグループ度	1	1	0	0	0	ケース 6
炉心出口温度	1	1	1	①	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	1	ケース 6		
1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	炉心出口温度	1	1	0	0	1*1	ケース 6		
1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	0	3 (全)	ケース 6		
1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	0	ケース 6		

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から稼働を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:高流量種を 延命した場合 B:高流量種を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A:高流量種を 延命した場合 B:高流量種を 延命した場合			
代替 停機 運転	全交流電力 電源喪失事 象と1次冷却 材喪失事象 が同時に発 生した場合	高圧注入流量	2(2)	2	1	1	①	—	燃料取扱費用水ピット水位	3(2)	2	1	1	ケース 3	
			2(2)	2	1	1	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3	
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3
			格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
		操作	原子炉下部ホールド タンク水位	1	1	1	1	①	—	原子炉下部ホールド タンク水位	1	1	0	1	ケース 1
			格納容器水位	1	1	1	1	①	—	格納容器水位	1	1	0	1	ケース 1
		A—高圧注 入ポンプ(備 用)の運転	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	燃料取扱費用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2
			補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2
		A—高圧注 入ポンプ(備 用)の運転	B—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	0	—	—	B—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1	ケース 2
			代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量	1	1	0	0	—	—	代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量	1	1	0	1	ケース 2
—	A—高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	1	1	0	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	—	—	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合							
代替 系統 運転 1次冷却材 喪失時に おける 再循環 運転中に 原子炉 補機冷却 機能が喪 失した場合	判断 基準 A-高圧注 入ポンプ 6連 水冷却に よる高圧 代注 再循環運転	原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	原子炉補機冷却水ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—				
		原子炉補機冷却水冷却器 補機冷却母管流量	8	8	0	4	③	原子炉補機冷却母管系の運転状態を 確認するパラメータ	原子炉補機冷却水ポン プ操作器表示(運転状態)	—	—	—				
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	0	①	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	2	3 (全)	①	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
		格納容器再循環サンプ 水水位(広域)	1(1)	1	1	0	①	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	1	ケース 1	
		燃料取扱器母管水位	1(1)	1	1	0	①	—	—	燃料取扱器母管水位	2(2)	2	2	1	ケース 2	
		A-高圧注入ポンプ及び 油冷却器補機冷却水流 量	2	2	1	1	③	—	—	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	A-高圧注入ポンプ操作 器表示(運転状態)	—	—	—	—	
		A-高圧注入ポンプ電動 機補機冷却水流量	2	2	1	1	③	—	—	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	A-高圧注入ポンプ操作 器表示(運転状態)	—	—	—	—	
		格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(PAM 用)	1	1	1	0	①	—	—	格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(PAM 用)	1	1	0	0	1	ケース 2
		代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量	1	1	1	0	①	—	—	代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量	1	1	0	0	1	ケース 2

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合
格納容器積離非の停止	判断基準	拍幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	拍幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	拍幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	—
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	6—A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパ ラメータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—
		6—A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	M/C主機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等)

対処手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流量を 延命した場合	B:直流量を 延命した場合		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流量を 延命した場合	B:直流量を 延命した場合	
溶融デブリが原子炉圧力容器に残存する際の冷却手順等	炉心出口温度	1	1	0	1 * 1	②	—	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
	格納容器内高圧レンジエリアモニタ(高圧レンジ)	2(2)	2	1	1	①	—	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	2	1	1	ケース 1
	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	7	7	0	ケース 1
	C、D-原子炉補機冷却水冷却器出口補機冷却水温度	2	2	0	0	②	—	4	1	1	ケース 6
	B-原子炉補機冷却水戻り管温度	1	1	0	0	②	—	2	0	2 * 2	ケース 4
	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	2	0	2 * 2	2 * 2	①	—	2	2	1	ケース 4
	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	1	0	0	ケース 1
	格納容器内温度	2(2)	2	0	2	①	—	2	2	1	ケース 6
	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	4	1	0	ケース 1
	格納容器内温度	2(2)	2	0	2	①	—	2	2	1	ケース 6

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用品から接続を変更することで通常と同一39点を連続監視可能
 *2 計器取り付け後監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合 (溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流量を 延命した場合		パラメータ 分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A:直流量を 延命した場合	B:直流量を 延命した場合
溶融デブリが原子炉圧力容器に残存する場合の冷却手順等	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	①	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	ケース 1
		格納容器圧力(圧減)	2(2)	2	0	①	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	2	①	—	格納容器圧力(圧減)	1	1	0	0	ケース 1
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	①	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	2	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1
		格納容器圧力(圧減)	2(2)	2	0	①	—	格納容器圧力(圧減)	1	1	0	0	ケース 1
		1次冷却材圧力(圧減)	2(2)	2	1	①	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		加圧器圧力	4	4	4	①	—	加圧器圧力	4	4	0	0	ケース 1
		1次冷却材温度(圧減-高 温側)	3(3)	3	3	①	—	1次冷却材温度(圧減-高 温側)	3(3)	3	3	3	0
1次冷却材温度(圧減-低 温側)	3(3)	3	3	①	—	1次冷却材温度(圧減-低 温側)	3(3)	3	0	3	0	ケース 6	

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生している場合（溶融デブリが原子炉容器に残存する場合の冷却手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流量を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A:直流量を 延命した場合	B:直流量を 延命した場合	
溶融デブリが原子炉圧力容器に残存する場合の冷却手順等	操作	格納容器再蒸餾サンプ水位(深域)							2(2)	2	1	1	ケース 1	
		原子炉下卸キャビティ水位							1	1	0	1	ケース 1	
		格納容器水位							1	1	0	1	ケース 1	
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)		2	1	①	—		2(2)	2	1	1	ケース 2
		補助給水ピット水位							2(2)	2	1	1	1	ケース 2
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)							1	1	0	1	1	ケース 2
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量							1	1	0	1	1	ケース 2
		燃料取扱用水ピット水位							2(2)	2	1	1	1	ケース 2
		補助給水ピット水位							2(2)	2	1	1	1	ケース 2
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)							1	1	0	1	1	ケース 2
代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量							1	1	0	1	1	ケース 2		

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接		SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合
蒸気発生器2次側 による炉心冷却 (注水) 電動補助給水ポンプ又は タービン駆動補助給水ポンプ による蒸気発生器への注 水 判断基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	ケース 1		
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1		
	低圧注入流量	2(2)	2	1	①	—	燃料車替用水位	2(2)	2	1	1	ケース 3		
	補助給水位	2(2)	2	1	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3		
	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ水位	1	1	1	1	ケース 3		
	余熱除去ポンプ電流	2	2	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3		
							格納容器圧縮蒸気ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	1	ケース 3	

*1 常用品から故障を変更することで通常と同じ3S点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合 B:直流通過を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合 B:直流通過を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	ケース1	
	炉心出口温度	1	1	0	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース1	
	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	3(全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	3(全)	0	ケース1	
	炉心出口温度	1	1	0	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース1	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	3(全)	1(B)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	ケース1	
	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	2(A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	3(全)	0	ケース4	
	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	3(全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	0	ケース4
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	—	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	1	ケース4
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3(全)	3(全)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3(全)	3(全)	2(A,C)	1(B)	ケース1
	1次冷却材温度(広域-低温側)	12(6)	12(全)	3(全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	12(6)	12(全)	3(全)	0	3(全)	ケース4
1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	1(B)	—	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	0	ケース4	
補助給水水位	2(2)	2	—	—	—	補助給水水位	2(2)	2	1	1	1	ケース3	
蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3(全)	2(A,C)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3(全)	3(全)	2(A,C)	1(B)	ケース3	
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	3(全)	ケース3	

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電圧を 延命した場合	B直流電圧を 延命した場合	
蒸気発生器2次側水による炉心冷却(注)	判断基準 復動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	泊幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	-	-	泊幹線1L, 2L, 後志幹線1L, 2L最終遮断警報	-	-	-	-	-
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	-	-	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	-
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	-	-	M/C母線電圧低警報	-	-	-	-	-
		6-C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	-	-	M/C主機 操作器表示(運転状態)	-	-	-	-	-
		脱気器タンク水位	1	1	0	0	-	-	脱気器タンク水位(現場)	1	1	1	1	-

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合 B:直流通過を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合 B:直流通過を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） SC直接給水用高圧ポンプ による蒸気発生器への注 水 判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	主給水ライン流量	9	9	0	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
	蒸気発生器水張り流量	1	1	0	0	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	補助給水セット水位	2(2)	2	1	1	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
								蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
								蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
								蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流量種を 延命した場合 B:直流量種を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流量種を 延命した場合 B:直流量種を 延命した場合			
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 断水を用いた可憫即大型 送水ポンプ車による蒸気発 生器への注水 判断基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
							蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
							1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
							1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
							補助給水レベル水位	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接		SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 代替給水ヒットを水源とし た可搬型大貫注水ポンプ 車による蒸気発生器への 注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	
								蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
								1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—
								1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—
								補助給水ヒット水位	2(2)	2	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 原水槽を水源とした可搬型 大口径水の1次側による蒸 気発生器への注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	補助給水流速	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
								蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
								1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
								1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
								補助給水セット水位	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合	B:直流通過を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接		SBO影響 A:直流通過を 延命した場合	B:直流通過を 延命した場合
蒸気発生器2次側による 主蒸気逃げし弁による蒸気 放出 判断基準 主蒸気発生器2次側による 原子炉冷却材圧力(狭域)	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	3 (全)	ケース 1	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	炉心出口温度	1	1	0	0	1*1	ケース 1	
	低圧注入流量	2(2)	2	1	1	①	—	燃料駆動ポンプ水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
								加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3	
								原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3	
								格納容器隔離サンプ水位 (広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3	
								蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 1
								1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	0	3 (全)	ケース 4
								1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 4
								1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	1	ケース 4
								蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	2 (A,C)	1 (B)	ケース 1
								1次冷却材温度(広域-低 温側)	12(6)	12 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 4
							1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 4	

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

- 1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合	B:直流通過を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接		SBO影響 A:直流通過を 延命した場合	B:直流通過を 延命した場合
蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出） 主蒸気速がし弁による蒸気放出 判断基準	主給水ライン流量	9	9	0	0	②	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
		1	1	0	0	②	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	①	—	補助給水水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ水位(狭域)	—	—	—	—	—	—
	余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—
		2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ水位(狭域)	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直接		SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出) ケービンバイパス弁による 蒸気放出 判断基準	1次冷却材圧力(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材圧力(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	1次冷却材圧力(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
	主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材圧力(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	1次冷却材圧力(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材圧力(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	主給水ライン流量	9	9	0	0	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	
	蒸気発生器水取り流量	1	1	0	0	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
						—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—
						—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
						—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—
						—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
						—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—
						—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	

*1 常用系から最終を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合	B:直流通過を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合	B:直流通過を 延命した場合		推定ケース
蒸気発生器2次側によるタービンバイパス弁による如心冷却(蒸気放出)	判断基準	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		復水器真空(広域)	1	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
		圧碎線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	圧碎線1L, 2L, 後志幹線1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	—	
		6-C1, C2, D母線電圧	3	3	0	0	—	—	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—	
									M/C抽機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合			
判断 基準	蒸気発生器2次側のフューードアンド ブリード	1次冷却材圧力(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—	
		1次冷却材圧力(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	3 (全)	3 (全)	0	—	
		低圧注入流量	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	—
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	2	—	—	2(2)	2	1	—
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	3(3)	3 (全)	0	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	2	—	—	2(2)	2	1	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	12(6)	12 (全)	3 (全)	—
		補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	—
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	—	—	2	2	1	—
		余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	—	—	2	2	1	—
		余熱除去ポンプ操作器表 (不運転状態)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		余熱除去ポンプ操作器表 (不運転状態)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		余熱除去ポンプ操作器表 (不運転状態)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

*1 常用系から故障を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A:直流電流を 延命した場合	B:直流電流を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		A:直流電流を 延命した場合	B:直流電流を 延命した場合
蒸気発生器2次側 タービン動油補助給水ポンプ 又は補助油助給水ポンプ による炉心冷却 (注水)	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 1	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
	低圧注入流量	2(2)	2	1	1	①	—	燃料車替用水位	3(2)	2	1	1	ケース 3	
	補助給水水位	2(2)	2	1	1	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3	
	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ水位	1	1	1	1	ケース 3	
	余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	原子炉容器水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
								格納容器圧縮機ポンプ水 位(広域)						

*1 常系系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電圧を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電圧を 延命した場合			
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) タービン動補給給水ポンプ 又は駆動補助給水ポンプ による蒸気発生器への注水	拍幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	拍幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	3	0	0	拍幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—
	後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	3	0	0	6—A, B母線電圧	—	—
	甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	甲, 乙母線の受電状態を監視するパ ラメータ	3	0	0	4(2)	1	—
	6—A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	1	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	3	—	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	0	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	3	2	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却水流量	8	8	0	4	原子炉補機冷却水系の運転状態を 確認するパラメータ	3	4	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通過を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通過を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による炉心冷却(往水) SC直接給水用蒸気ポンプ による蒸気発生器への注水	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	0	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	炉心出口温度	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	炉心出口温度	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
補助給水水位	2(2)	2 (全)	1 (全)	—	補助給水水位	2(2)	2	1	1	—	
補助給水流量	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
補助給水水位	2(2)	2 (全)	1 (全)	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流量種を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流量種を 延命した場合			
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 断水を用いた可換型大型 送水ポンプ車による蒸気発 生器への注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
							蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
							1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
							1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
							補助給水レベル水位	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通過を 延命した場合 B:直流通過を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流通過を 延命した場合 B:直流通過を 延命した場合	
代替給水ヒットを水源とし た可搬型大貫注水ポンプ 車による蒸気発生器への 注水 蒸気発生器2次側による 炉心冷却(注水)	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
	炉心出口温度	1	1	0	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
	炉心出口温度	1	1	0	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	—	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
補助給水流量	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	補助給水ヒット水位	2(2)	2	1	1	—	

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 原水槽を水源とした可搬型 大口径水の1車による蒸 気発生器への注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—	—	
	炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	0	1*1	—	—	
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	0	—	—	
	炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	0	1*1	—	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	—	—	—	—	12 (全)	3 (全)	—	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	—	
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2 (全)	—	—	—	—	2	1	1	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—	
1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	—		
補助給水水位	2(2)	2 (全)	—	—	—	—	2	1	1	—		
蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	—	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—		
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	—	—	—	—	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—		

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通過を 延命した場合 B:直流通過を 延命した場合			計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通過を 延命した場合 B:直流通過を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出) 主蒸気速い水(即時手動 操作)による蒸気放出 判断基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
	低圧注入流量	2(2)	2	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	1 (B)	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	①	—	格納容器圧縮蒸気サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3	
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 1
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	3 (全)	ケース 4
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	1	ケース 4
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	①	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	2 (A,C)	1 (B)	ケース 1
							1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 4	
							1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 4	
							補助給水ピット水位	2(2)	2 (全)	1	1	ケース 3	
							蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	2 (A,C)	1 (B)	ケース 3
							蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 3

*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
 全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A.直流電圧を 延命した場合	B.直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A.直流電圧を 延命した場合	B.直流電圧を 延命した場合
蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)	判断基準	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	余熱除去ポンプ操作器表 (運転状態)	—	—	—	—	—
		余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	余熱除去ポンプ操作器表 (運転状態)	—	—	—	—	—
		泊幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	泊幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	泊幹線1L, 2L, 後志幹線1L, 2L異常遮断警報	—	—	—	—	—
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	—
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給母管流量	5	5	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を監視するパラメータ	原子炉補機冷却水ポンプ操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水流量	8	8	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を監視するパラメータ	原子炉補機冷却水ポンプ操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—

全: すべてのループの計器の合計数
 A(B,C): 当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合			計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合				
蒸気発生器2次側のフューズブレイク ブリード	判断基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—		
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—		
		低圧注入流量	2(2)	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—	
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	格納容器圧縮機サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	0	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	0	—
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—
		補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—		
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	

*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
 1次冷却材喪失事象が発生していない場合(サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A.直流電圧を 延命した場合	B.直流電圧を 延命した場合	パラムータ 分類	補助的なパラムータ 分類理由	計器名称		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A.直流電圧を 延命した場合	B.直流電圧を 延命した場合	
蒸気発生器2次側のファイアドアードブリード	判断基準	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	—	—	余熱除去ポンプ操作器表 (運転状態)	—	—	—	—	—	
		余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	—	—	余熱除去ポンプ操作器表 (運転状態)	—	—	—	—	—	
		泊幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	泊幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L異常遮断警報	—	—	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	—	
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	—	—	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水供給母管流量	5	5	0	0	—	—	M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却母管流量	8	8	0	0	—	—	原子炉補機冷却水ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	
										原子炉補機冷却母管ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—

全: すべてのループの計器の合計数
 A(B,C): 当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流通過を 延命した場合	B.直流通過を 延命した場合		計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流通過を 延命した場合	B.直流通過を 延命した場合		
炉心注水 充てんポンプによる炉心注水	判断基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		原子炉容器水位	4(2)	4	1	①	—	1	1	0	0	ケース 6
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	②	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6
		低圧注入流量	2(2)	2	1	①	—	2(2)	2	1	1	ケース 6
		燃料取扱ポンプ水位	2(2)	2	1	①	—	2(2)	2	1	1	ケース 3
		加圧器水位	4(2)	4	1	①	—	4(2)	4	1	1	ケース 3
		原子炉容器水位	1	1	1	①	—	1	1	1	1	ケース 3
		格納容器圧縮器サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	①	—	2(2)	2	1	1	ケース 3

全・すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

*1 常用品から換装を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電流を 延命した場合 B:直流電流を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A:直流電流を 延命した場合 B:直流電流を 延命した場合		
判断基準	炉心注水	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ 操作器 表示(運転状態)	—	—	—	—	
		余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ 操作器表 示(運転状態)	—	—	—	—	
		燃料取扱用水レベル	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	
操作	炉心注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	①	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 1
		1次冷却系循環ループ水位	2	2	0	0	②	—	サブクール度	1	1	0	0	ケース 6
		1次冷却系循環ループ水位	2	2	0	0	②	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 6
								1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6	
								1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6	
								1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	0	ケース 6
								余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	ケース 4	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数
*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合		
炉心注水 炉心注水による炉心注水 操作		充てん流量	1	1	0	0	②	—	燃料取扱用水ピット水位	3(2)	2	1	1	ケース 3
		充てん圧力	2(2)	2	1	1	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3
		燃料取扱用水ピット水位	1	1	0	0	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3
		充てんライン圧力	1	1	0	0	③	充てんポンプの運転状態を確認するパラメータ	格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	1
		充てん流量	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 2
		充てんライン圧力	1	1	0	0	③	充てんポンプの運転状態を確認するパラメータ	充てん流量	1	1	0	0	ケース 2

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流電圧を 延命した場合		パラメータ 分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	
原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）	炉心注水 高圧注入ポンプによる炉心注水	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	0	①	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	0	ケース 1
		炉心出口温度	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	炉心出口温度	1	1	0	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	1*1	②	1次冷却材温度(広域-高温側)	1	1	0	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	1*1	②	炉心出口温度	1	1	0	ケース 1
		加圧器水位	4(2)	4	1	①	加圧器水位	1	1	0	ケース 6
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	②	1次冷却系統ループ水位	2	2	0	ケース 4
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	①	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	ケース 3
		充てん流量	1	1	0	②	充てん流量	1	1	0	ケース 3
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	①	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	ケース 3
		充てんライン圧力	1	1	0	③	充てんライン圧力	1	1	0	ケース 3

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

「」の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		計器数 ()内はPAM	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	A:直流電圧を 延命した場合			B:直流電圧を 延命した場合	直接		A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合			
炉 心 注 水	炉 心 注 水 による炉心 操作	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	3 (全)	0	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	3 (全)	0	3(3)	3 (全)	0	0	ケース 1	
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	①	—	1	1	1	1	0	1*1	ケース 1
		原子炉冷却材水位	1	1	1	1	①	—	1	1	1	1	1	1	ケース 1
高 圧 注 入 ボ ン プ による炉心 操作	高 圧 注 入 ボ ン プ による炉心 操作	サブクール度	1	1	1	①	—	1	1	1	1	0	0	ケース 6	
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	2	2	2(2)	2	1	1	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3	3	3	①	—	3	3	3(3)	3	3	3	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3	3	3	②	—	3	3	3(3)	3	3	3	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3	0	②	—	0	0	3(3)	3	0	3	ケース 6	
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	②	—	0	0	2	2	0	0	ケース 4	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から機能を喪失することによって通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流通程を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流通程を 延命した場合			
炉心注水	高圧注入ポンプによる炉心注水 操作	高圧注入流量	2(2)	2	1	1	0	0	0	0	—	
		燃料取扱用水ピット水位						2	1	1	1	ケース 3
		加圧器水位						4	4	1	1	ケース 3
		原子炉容器水位						1	1	1	1	ケース 3
		格納容器再循環サンプ水位(広域)					2(2)	2	1	1	ケース 3	
		格納容器再循環サンプ水位(広域)					2(2)	2	1	1	ケース 2	
		高圧注入流量					2(2)	2	1	1	ケース 2	
		高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	0	0	0	0	0	0	—	

全：すべてのループの計器の合計数
A(B,C)：当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
代替 炉心 注水	判断 基準 注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—		
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	1	1	0	1*1	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	—	炉心出口温度	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	2	2	0	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却系統ループ水位	—	—	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2	2	0	0	—
		高圧注入ポンプ出口圧力	—	—	—	—	—	—	高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	2	2	—
高圧注入流量	2(2)	2	1	1	—	—	高圧注入ポンプ出口圧力	4(2)	4	1	1	—		
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—		
高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	0	0	—	—	高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流電圧を 延命した場合	B.直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接		SBC影響 A.直流電圧を 延命した場合	B.直流電圧を 延命した場合
代 替 如 心 注 水	操 作	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	如心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	—	サブクール度	1	1	0	0	—
		低圧注入流量	2(2)	2	1	1	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	0	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	0	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—		
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—		
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—		
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—		
燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	低圧注入流量	2(2)	2	1	1	—		

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ395点を連続監視可能

全・すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				補助的なバロメータ 分類理由	バロメータ 分類	抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直度	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合			直度	計器数 ()内はPAM	直度	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合		B:直流電圧を 延命した場合	
代替 如心 注水	判断基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	②	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
		加圧器水位	4(2)	4	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 1	
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	②	—	サブクール度	1	1	0	0	ケース 6	
								1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 6	
								1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	0	ケース 6
								1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	0	ケース 6
								1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6
						余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	2	0	0	ケース 4		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ395点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響		パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響			評価
					A:直流通過を 延命した場合	B:直流通過を 延命した場合						A:直流通過を 延命した場合	B:直流通過を 延命した場合		
代替 知 心 注 水	判断基準	高圧注入流量	2(2)	2	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3	
		高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	0	0	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3	
		高圧注入ポンプの計器の合計数 A(B,C):当該ループの計器数	2	2	0	0	③	格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	1	ケース 3	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				補助的なバロメータ 分類理由	抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価		
		計器数 ()内はPAM	直度	SBO影響 A.直流電圧を 延命した場合	B.直流電圧を 延命した場合		計器数 ()内はPAM	直度	SBO影響 A.直流電圧を 延命した場合	B.直流電圧を 延命した場合			
代替格納容器スプレイング による代替炉心注水	判断基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	サブクール度	1	1	0	0	ケース 6
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 6
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 6
							余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	ケース 4	

*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBC影響 A:直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBC影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合	
代替炉心注水 判断基準	代替格納容器スプレイト プによる代替炉心注水	燃料取替用水ピット水位							2(2)	2	1	1	ケース 3	
		加圧器水位							4(2)	4	1	1	ケース 3	
		原子炉容器水位	1	1	0	0	②	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)							格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
代替炉心注水	代替格納容器スプレイト プによる代替炉心注水	燃料取替用水ピット水位							3(2)	2	1	1	ケース 3	
		加圧器水位							4(2)	4	1	1	ケース 3	
		原子炉容器水位	1	1	0	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)							格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	
代替 炉心 注水 電動機駆動消火ポンプ又は ターミネーゼル駆動消火ポンプ による代替炉心注水 判断 基準		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	サブクール度	1	1	0	0	—
		ろ過タンク水位	2	2	0	0	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	1	1
		燃料取扱室排水ピット水位	—	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		代替格納容器スプレイング 出口積算流量	1	1	0	1	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	2	0	0
		ろ過タンク水位	2	2	0	0	—	燃料取扱室排水ピット水位	2(2)	2	2	1	1
		ろ過タンク水位	2	2	0	0	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	1
		ろ過タンク水位	2	2	0	0	—	加圧器水位	4(2)	4	4	1	1
ろ過タンク水位	2	2	0	0	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	1		
ろ過タンク水位	2	2	0	0	—	格納容器各種積算水 位(広域)	2(2)	2	2	1	1		

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
代替 原子 炉注水 断水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替炉 心注水 判断 基準		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
		炉心出口温度	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
		炉心出口温度	1	1	1	②	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
		加圧器水位	4(2)	4	1	①	—	加圧器水位	1	1	1	0	0	ケース 6
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	②	—	1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	0	ケース 6
		燃料取扱用ホットボット水位	2(2)	2	0	②	—	燃料取扱用ホットボット水位	2	2	0	0	0	ケース 4
		補助給水ポンプ水位	2(2)	2	0	②	—	補助給水ポンプ水位	2(2)	2	1	1	1	ケース 3
		加圧器水位	1	1	1	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	1	ケース 3
		原子炉容器水位	1	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	1	ケース 3
		格納容器各種サンプ水位(広域)	2(2)	2	0	②	—	格納容器各種サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	1	ケース 3
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	②	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	0	ケース 4
		燃料取扱用ホットボット水位	2(2)	2	0	②	—	燃料取扱用ホットボット水位	2(2)	2	1	1	1	ケース 3
		補助給水ポンプ水位	2(2)	2	0	②	—	補助給水ポンプ水位	2(2)	2	1	1	1	ケース 3

*1 常用品から設備を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電流を 延命した場合	B:直流電流を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接		SBC影響 A:直流電流を 延命した場合	B:直流電流を 延命した場合
代替 炉心 注水	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	1	1	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	—	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	
		原子炉容器水位	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	1	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	—	—	サブクール度	1	1	0	0	—	
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	—	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	2	0	0	
		代替格納容器スプレイング 出口積算流量	1	1	0	—	—	燃料取扱ポンプ水位	2(2)	2	1	1	—	

*1 常用品から設備を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直値	SBC影響 A:直直値範囲を 延命した場合 B:直直値範囲を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直値	SBC影響 A:直直値範囲を 延命した場合 B:直直値範囲を 延命した場合		
代替 原子 炉注 水 原水 槽を 水源 とした 可搬型 大型 送水 ポンプ 車による 代替 原子 炉注 水 判断 基準		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	1	1	1	1*1	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	—	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—
		原子炉容器水位	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	1	—
		サブクール度	—	—	—	—	—	サブクール度	1	1	0	0	0	—
		1次冷却材圧力(広域)	—	—	—	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	1	1	—
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	—	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—
1次冷却材温度(広域-高 範囲)	—	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—		
1次冷却材温度(広域-低 範囲)	—	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—		
—	—	—	—	—	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	2	0	0	—		
—	—	—	—	—	—	燃料取扱ポンプ水位	2(2)	2	2	1	1	—		
—	—	—	—	—	—	補助給水ポンプ水位	2(2)	2	2	1	1	—		
—	—	—	—	—	—	加圧器水位	4(2)	4	4	1	1	—		
—	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	1	—		
—	—	—	—	—	—	格納容器各種ポンプ水位(広域)	2(2)	2	2	1	1	—		

*1 常用品から設備を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通道を 延命した場合 B:直流通道を 延命した場合		パラメータ 分類	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接		SBC影響 A:直流通道を 延命した場合 B:直流通道を 延命した場合	
再 始 動 後 再 運 転	高圧注入ポンプによる高圧 再循環運転 判断 基 準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
		燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
		加圧器水位	—	—	—	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3
		原子炉容器水位	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	—	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
再 始 動 後 再 運 転	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	1	ケース 1	
		原子炉下部キャビティ水 位	—	—	—	—	原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	1	ケース 1	
		格納容器水位	—	—	—	—	格納容器水位	1	1	1	0	ケース 1	
		燃料取替用水ピット水位	—	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2	
		補助給水ピット水位	—	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2	
		B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	—	—	—	—	B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	1	ケース 2	
代君 格納容器スプレイサ ンプ出口積算流量	—	—	—	—	代君 格納容器スプレイサ ンプ出口積算流量	1	1	1	0	1	ケース 2		

*1 常用品から換装を変更することで通常と同じ395点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流電圧を 延命した場合	B.直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称		計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流電圧を 延命した場合	B.直流電圧を 延命した場合	
停 機 操 縦 運 転	判 断 基 準	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	
		高圧注入ポンプによる高圧 再循環運転	余熱除去ポンプ出口圧力	1	1	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ操作器表 示(運転状態)	—	—	—	—	—	—
		余熱除去ポンプ電流	2	2	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ操作器表 示(運転状態)	—	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (フロントライン系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通道を 延命した場合 B:直流通道を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通道を 延命した場合 B:直流通道を 延命した場合		
代替用監視運転 B-格納容器スプレッドポンプ FRIMS-CSS連動ライン 使用による代替用監視運 転 判断基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
	炉心出口温度	3(3)	3 (全)	0	①	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
	炉心出口温度	1	1	0	②	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1
	高圧注入流量	2(2)	2	1	①	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
	B-格納容器再循環サン プ水位(広域)	1(1)	1	0	①	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
	B-格納容器再循環サン プ水位(広域)	1(1)	1	0	①	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	1	ケース 1
	高圧注入ポンプ出口圧力	2	2	0	③	高圧注入ポンプ出口圧力	1	1	0	1	ケース 1
						燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 1
						補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2

*1 常用品から設備を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称		計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） 電動補助給水ポンプ又はタービン駆動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	炉心出口温度	1	1	1	0	1*1	ケース 1	
	低圧注入流量	2(2)	2	1	①	—	燃料駆動ポンプ水位	2(2)	2	2	1	1	ケース 3	
	補助給水水位	2(2)	2	1	①	—	加圧器水位	4(2)	4	4	1	1	ケース 3	
	余熱除去ポンプ出口圧力	1	1	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ水位	1	1	1	1	1	ケース 3	
	余熱除去ポンプ電流	2	2	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	格納容器圧縮機ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	1	ケース 3	

*1 常用系から故障を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A.直流電源を 延命した場合
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） 電動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	—
	炉心出口温度	1	1	0	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	3(全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	0
	炉心出口温度	1	1	0	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	3(全)	1(B)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	3
	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	2(A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	3(全)	0	3(全)
	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	3(全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	0
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2(全)	—	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	1
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3(全)	3(全)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3(全)	3(全)	2(A,C)	1(B)
	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	3(全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	3(全)	0	3(全)
1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	2(A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3(全)	3(全)	3(全)	0	
補助給水水位	2(2)	2(全)	1(B)	—	—	補助給水水位	2(2)	2(全)	2(全)	1(全)	1(全)	
蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3(全)	2(A,C)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3(全)	3(全)	2(A,C)	1(B)	
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	3(全)	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合	
蒸気発生器2次側水による炉心冷却（注） 運動主給水ポンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	拍幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	拍幹線1L, 2L, 後志幹線1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1
		6-C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	—	—	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—
		脱気器タンク水位	1	1	0	0	—	—	M/C主機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流電源を 延命した場合 B.直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A.直流電源を 延命した場合 B.直流電源を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） SC直接給水用高圧ポンプ による蒸気発生器への注 水 判断基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—		
	炉心出口温度	1	1 (全)	0	—	—	炉心出口温度	1	1 (全)	0	1*1	—		
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—		
	炉心出口温度	1	1 (全)	0	—	—	炉心出口温度	1	1 (全)	0	1*1	—		
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	—	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—		
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—		
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2 (全)	—	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2 (全)	2	1	1	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
	主給水ライン流量	9	9 (全)	0	0	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
蒸気発生器水張り流量	1	1 (全)	0	0	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—		
補助給水レベル	2(2)	2 (全)	1	1	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—		
							補助給水レベル	2(2)	2 (全)	—	—	—		

*1 常用系から故障を発生することで通常と同じ39点を連続監視可能

全：すべてのループの計器の合計数

A(B,C)：当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） 断水を用いた可換型大型 送水ポンプ車による蒸気発 生器への注水	判断 基準 準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
									蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
									1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
									1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
									補助給水ヒット水位	2(2)	2	1	1	—
							蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—		
							蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—		

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合			B:直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） 代替給水ヒットを水源とし た可搬型大貫注水ポンプ 車による蒸気発生器への 注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0	3 (全)	3 (全)	—	
	炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	0	1*1	1*1	—	
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—	
	炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	0	1*1	1*1	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	3 (全)	1 (B)	—	—	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—	
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	—	—	—	2	1	1	1	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—	
1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—		
補助給水ヒット水位	2(2)	2	—	—	—	2	1	1	1	—		
蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	3 (全)	2 (A,C)	2 (A,C)	1 (B)	—		
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	3 (全)	3 (全)	—	—	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—		
補助給水流量	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	—	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通程を 延命した場合 B:直流通程を 延命した場合			計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通程を 延命した場合 B:直流通程を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） 原水槽を水源とした可搬型 大口径水の1車による蒸 気発生器への注水	判断基準 蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0	3 (全)	3 (全)	—	
		炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	0	1*1	—	—	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	3 (全)	3 (全)	0	—	
		炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	0	1*1	—	—	
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	—	—	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	—	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	—	
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	—	—	—	—	2	1	1	—	
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	—	—	—	—	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	—	—	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—	
1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	—	—	—	—	3 (全)	3 (全)	0	—			
補助給水水位	3(3)	3 (全)	—	—	—	—	3 (全)	2	1	1	—		
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—			
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器			評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流量程を 延伸した場合			計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流量程を 延伸した場合		B.直流量程を 延伸した場合
蒸気発生器 2 次側 による 蒸気 放出 主蒸気配管がし弁による蒸気 放出 判断基準 裡	1次冷卻材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	①	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
	1次冷卻材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1	
	低圧注入流量	2(2)	2	1	①	—	2(2)	2	1	1	ケース 3	
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	①	—	3(3)	3 (全)	1 (B)	3 (全)	ケース 4	
	1次冷卻材温度(広域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	①	—	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 4	
	1次冷卻材圧力(広域)	2(2)	2	1	①	—	2(2)	2	1	1	ケース 4	
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	①	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	ケース 1	
	1次冷卻材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 4
	1次冷卻材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 4
	1次冷卻材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 4

全:すべてでのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数
*1 常用系から接続変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通程を 延命した場合 B:直流通程を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流通程を 延命した場合 B:直流通程を 延命した場合	
蒸気発生器二次側による炉心冷却（蒸気放出） 主蒸気速がし弁による蒸気放出 判断基準 補断基準	主給水ライン流量	9	9	0	0	②	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		3(3)	3(3)	3 (全)	1 (B)	①	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	蒸気発生器水張り流量	1	1	1	0	②	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ操作器表 示(運転状態)	—	—	—	—	—
	余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ操作器表 示(運転状態)	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による タービンバイパス弁による 蒸気放出 判断基準	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	1	0	1*1	—
	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	炉心出口温度	1	1	0	—	—	1	1	0	1*1	—
	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	0
	1次冷却材圧力(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	—	—	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	0	0	—	
1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等
運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出） タービンバイパス弁による 蒸気放出	主給水ライン流量		9	0	0	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
		補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	蒸気発生器水張り流量	1	1	0	0	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
	復水器真空(広域)	1	1	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	拍幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	拍幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	—	
	後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
	甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	6—A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	—	
	6—C1, C2, D母線電圧	3	3	0	0	—	—	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—	
								M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合			計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器2次側のフューードアンド ブリード	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1 (全)	1*1	—
		炉心出口温度	1	1 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	1*1	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	—	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	—
		加圧器水位	4(2)	4	—	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	—
		原子炉容器水位	1	1	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	—	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—
1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—		
1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	—	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	—		
蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	—	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—		
1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—		
1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—		

*1 常用品から換装を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全・すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドが低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（フロントライン系機能喪失時の手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流量種を 延命した場合 B:直流量種を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流量種を 延命した場合 B:直流量種を 延命した場合		
蒸気発生器2次側のフィードアラートブリード	判断基準	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	補助給水ピストン水位	3(2)	2	1	1	—
		蒸気発生器水位	—	—	—	—	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
		蒸気発生器水位(狭域)	—	—	—	—	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	—	—	余熱除去ポンプ操作器表 不(運転状態)	—	—	—	—	—
		余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	—	余熱除去ポンプ操作器表 不(運転状態)	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合	B:直流通過を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通過を 延命した場合	B:直流通過を 延命した場合		
代替 炉心 注水	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	3 (全)	0	1	ケース 1
		炉心出口温度	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	2	0	②	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6
		加圧器水位	4 (2)	1	①	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6
		低圧注入流量	2 (2)	1	①	—	炉心出口温度	3 (全)	0	1	ケース 1
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ出口圧力	2	0	0	—
		余熱除去ポンプ電流	2	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ電流	2	0	0	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3 (3)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3 (3)	0	3 (3)	ケース 1
		炉心出口温度	1	0	—	—	炉心出口温度	1	0	1*1	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3 (3)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3 (3)	0	3 (3)	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3 (3)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3 (3)	0	3 (3)	ケース 6
		加圧器水位	4 (2)	1	①	—	加圧器水位	4 (2)	1	1	ケース 3

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 (内:PAM)	直接	SBC影響 A:直流通電を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 (内:PAM)		直接	SBC影響 A:直流通電を 延命した場合	B:直流通電を 延命した場合
代替炉心注水 代替格納容器スプレッド プによる代替炉心注水	判断基準	圧幹線1L, 2L電圧	2	2	0	③	圧幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	圧幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラ メータ	6—A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	
		6—A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却器水流量	8	8	0	③	原子炉補機冷却器水系の運転状態を確 認するパラメータ	原子炉補機冷却器水ポン プ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	
		燃料取替用水レベル水位	2(2)	2	1	①	—	—	—	—	—	—	—
		全:すべてのループの計器の合計数 A(B,C):当該ループの計器数											

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
代替 炉心 注水 燃料 取替 用水 ピット からの 重力 注水 による 代替 炉心 注水	判断 基準 は —	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	1	1	1	1*1	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	—	炉心出口温度	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	0	0	—	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	—
		代替格納容器スプレイポ ンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	抽助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数
*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流電源を 延命した場合	B.直流電源を 延命した場合		パラメータ 分類	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流電源を 延命した場合		B.直流電源を 延命した場合	
代替 如心 注水	判断基準 B-充てんポンプ自己冷却による代替如心注水	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	如心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1
		如心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		如心出口温度	4(2)	4	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 1
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	②	—	サブクール度	1	1	0	0	ケース 6
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	②	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	0	②	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6
		1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	0	②	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 6
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	②	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	ケース 4

*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器											評価						
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		評価							
				直接	A:直流量を 延命した場合					B:直流量を 延命した場合	直接			A:直流量を 延命した場合	B:直流量を 延命した場合				
代替 炉心 注水	B-充てんポンプ自己冷 却)による炉心注水 判 断 基 準	代替格納容器スプレイボ ンプ出口積算流量	1	1	0	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
		燃料取扱用水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		燃料取扱用水位ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		燃料取扱用水位ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		燃料取扱用水位	2(2)	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		補助給水ピット水位	2(2)	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		加圧器水位	4(2)	4	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		原子炉容器水位	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合		
代替 原子 炉注水 B-格納容器スプレイドン プ(自己冷却)WARS-CSS 連絡ライン使用による代替 炉心注水		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		炉心出口温度	—	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	加圧器水位	1	1	1	1	1	—
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2(2)	2	1	1	—
		充てん流量	1	1	0	0	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		充てん圧力	1	1	0	0	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		燃料取替用水ビット水位	2(2)	2	1	1	—	余熱除去ボンプ出口圧力	2	2	2	0	0	—
								燃料取替用水ビット水位	3(2)	3(2)	2	1	1	—
								原子炉容器水位	1	1	1	1	1	—
								加圧器水位	4(2)	4(2)	4	1	1	—
								格納容器再循環サンプ水 位(広域)	3(2)	3(2)	2	1	1	—
								充てんポンプ操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—	—
							燃料取替用水ビット水位	2(2)	2(2)	2	—	—	—	

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直値	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合			
代替 知 心 注 水	ダイセル駆動消火ボンプ又は電動機駆動消火ボンプによる代替炉心注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—	
		加圧器水位	4 (2)	4	1	1	—	—	サブグループ度	1	1	0	0	—
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2 (2)	2	1	1	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3 (全)	2	0	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—
		B-格納容器スプレイ流 量	1	1	0	0	—	—	余熱除去ボンプ出口圧力	2	2	2	0	—
		燃料取扱ボンプドット水位	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)	—	—	燃料取扱ボンプドット水位	3 (2)	3 (2)	2	1	1
加圧器水位	4 (2)	4	4	4	—	—	加圧器水位	4 (2)	4	4	1	1	—	
原子炉容器水位	1	1	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	1	—	
格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2 (2)	2	2	2	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2 (2)	2	2	1	1	—	

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通程を 延命した場合 B:直流通程を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流通程を 延命した場合 B:直流通程を 延命した場合		
代替 炉心 注水	ディーゼル駆動消火ポン プ又は電動機駆動消火ポ ンプによる代替炉心注水	冷却器出口積算流量AM (用)	1	1	0	1	—	燃料取扱用注水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		判 断 基 準						加圧器水位	4(2)	4	1	1	1	—
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—	
								格納容器再循環サンプ水 位(圧減)	2(2)	2	1	1	1	—
								—	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電流を 延命した場合 B:直流電流を 延命した場合	計器数			直接	SBC影響 A:直流電流を 延命した場合 B:直流電流を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直接	
代替 如心 注水	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3 (全)	0	3 (全)	0	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	3 (全)	0	3 (全)	0	ケース 1
		炉心出口温度	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	1	1*1	3 (全)	0	ケース 1
		加圧器水位	4 (2)	1	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	1	0	3 (全)	0	ケース 1
		1次冷却系統ループ水位	2	0	②	—	原子炉容器水位	1	0	1	1	ケース 1
		B-格納容器スプレイ流 量	1	1	②	—	サブグループ度	4	1	1	0	ケース 6
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2			1次冷却材温度(広域-高 温側)	3 (全)	0	3 (全)	0	ケース 6
		燃料取扱用ボット水位	2 (2)	2			1次冷却材温度(広域-高 温側)	3 (全)	0	3 (全)	0	ケース 6
		原子炉容器水位	1	1			1次冷却材温度(広域-低 温側)	3 (全)	0	3 (全)	0	ケース 6
		加圧器水位	4 (2)	4			格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2 (2)	2	2	0	ケース 4

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ395点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通程を 延命した場合 B:直流通程を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流通程を 延命した場合 B:直流通程を 延命した場合			
代替 炉心 注水	冷却水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替炉 心注水	B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	1	—	燃料取扱用注水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3		
			1	1	0	1		加圧器水位	4(2)	4	1	1	1	ケース 3	
			1	1	0	1		原子炉容器水位	1	1	1	1	1	1	ケース 3
			1	1	0	1		格納容器再循環サンプ水位 (圧減)	2(2)	2	1	1	1	1	ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通過を 延命した場合 B:直流通過を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流通過を 延命した場合 B:直流通過を 延命した場合		
代替 炉心 注水 判断 基準	代替給水ピットを水源とし た可搬型大型送水ポンプ 車による代替炉心注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		炉心出口温度	3(3)	3 (全)	0	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	—	サブクール度	1	1	0	0	—
		代替格納容器スプレィ ポンプ出口積算流量	1	1	1	1	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱室排水ピット水位	2(2)	2	0	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	2	2	—	—	燃料取扱室排水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
—	—	—	—	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—		
—	—	—	—	—	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—		
—	—	—	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—		
—	—	—	—	—	—	—	格納容器各種階サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—		

*1 常用品から設備を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流電圧を 延命した場合 B:直流電圧を 延命した場合
代替炉心注水 代替給水ポンプを本流とした可搬型大流量ポンプ車による代替炉心注水	判断基準	B-格納容器スプレイ流量	1	1	0	—	—	燃料取扱替用水ピット水位	2(2)	2	1	1
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	—	—	原子炉容器水位 加圧器水位 燃料取扱替用水ピット水位 格納容器再循環ポンプ水位(圧減)	4(2)	4	1	1
								燃料取扱替用水ピット水位	2(2)	2	1	1
								加圧器水位	4(2)	4	1	1
								原子炉容器水位	1	1	1	1
								格納容器再循環ポンプ水位(圧減)	2(2)	2	1	1

*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響			
					A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合				A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合		
代替 原子 炉注 水 原水 槽を 水源 とした 可搬型 大型 送水 ポンプ 車による 代替 原子 炉注 水 判断 基準		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		炉心出口温度	—	—	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		炉心出口温度	1	1	1*1	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	サブクール度	1	1	0	0	—
		代替格納容器スプレイ/ポンプ 出口積算流量	1	1	0	1	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		燃料取扱用ボット水位	3(2)	3	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		加圧器水位	4(2)	4	1	1	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
原子炉容器水位	1	1	1	1	—	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	2	0	—		
格納容器各種サンプ水位(広域)	3(2)	3	—	—	—	燃料取扱用ボット水位	3(2)	3	1	1	—		
格納容器各種サンプ水位(広域)	3(2)	3	—	—	—	補助給水ポンプ水位	2(2)	2	2	1	—		
格納容器各種サンプ水位(広域)	3(2)	3	—	—	—	補助給水ポンプ水位	2(2)	2	2	1	—		
格納容器各種サンプ水位(広域)	3(2)	3	—	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—		
格納容器各種サンプ水位(広域)	3(2)	3	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—		
格納容器各種サンプ水位(広域)	3(2)	3	—	—	—	格納容器各種サンプ水位(広域)	3(2)	3	2	1	—		

*1 常用品から設備を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBC影響 A.直流電流を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBC影響 A.直流電流を 延命した場合
代替 炉心 注水	判断基準 原水槽を水源とした可搬型 大型送水ポンプ車による代 替炉心注水	B-格納容器スプレイ流 量	1	1	0	—	—	燃料取扱替用木ヒット水位	2(2)	2	1	1
		B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	—	—	原子炉容器水位 加圧器水位 燃料取扱替用木ヒット水位 格納容器再循環ポンプ水 位(圧減)	4(2)	4	1	1
								格納容器再循環ポンプ水 位(圧減)	2(2)	2	1	1
								燃料取扱替用木ヒット水位	2(2)	2	1	1
								加圧器水位	4(2)	4	1	1
								原子炉容器水位	1	1	1	1
								格納容器再循環ポンプ水 位(圧減)	2(2)	2	1	1

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数
*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合		計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合	B:直流電源を 延命した場合					
代替 停機 運転	運転停止中 において全 交流動力電 源喪失が發 生した場合	A-高圧注 入ポンプ(停 水冷却水)上 の高圧代替 再循環運転	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1	
			1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1	
			炉心出口温度	1	1	0	1*1	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
										1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
										格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	1	ケース 1
										原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	1	ケース 1
										格納容器水位	1	1	0	1	ケース 1
										燃料取扱器用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2
										補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2
										B-格納容器スプレイン冷 却器出口積算流量(PAM 用)	1	1	0	1	ケース 2
							代替格納容器スプレイン サンプ出口積算流量	1	1	0	1	ケース 2			

*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流通電を 延命した場合	B:直流通電を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称	直接	SBO影響 A:直流通電を 延命した場合		B:直流通電を 延命した場合	
代替 運転 停止 中 にお いて 全 交 流 動 力 電 源 喪 失 事 故 が 発 生 し た 場 合	A-高圧注 入ポン プ/機 械補 給冷 却水 流量	A-高圧注入ポンプ及び 油冷却器機械冷却水流量	2	1	1	③	高圧注入ポンプの パラメータ	高圧注入ポンプの運 転状態を確認する 器表示(運転状態)	—	—	—	—
		A-高圧注 入ポン プ電 動機 械補 給冷 却水 流量	2	1	1	③	高圧注入ポンプの パラメータ	A-高圧注入ポンプ操 作器表示(運転状態)	—	—	—	—
	A-高圧注 入ポン プ/機 械補 給冷 却水 流量	泊幹線1L, 2L電圧	2	0	0	③	泊幹線1L, 2Lの受電 状態を監視する パラメータ	泊幹線1L, 2Lの受電 状態を監視する 器表示(運転状態)	—	—	—	—
		後志幹線1L, 2L電圧	2	0	0	③	後志幹線1L, 2Lの受 電状態を監視す るパラメータ	泊幹線1L, 2Lの受電 状態を監視する 器表示(運転状態)	—	—	—	—
	甲母線電 圧, 乙 母線電 圧	甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状 態を監視するパ ラメータ	6-A, B母線電圧	4(2)	1	1	—
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	1	1	③	常用及び非常用高 圧母線の受電状 態を監視するパ ラメータ	M/C母線電圧低警 報	—	—	—	—
	M/C補 給機 操作 器表 示 (運 転状 態)	M/C補 給機 操作 器表 示 (運 転状 態)	M/C補給機 操作器表示	—	—	—	—	M/C補給機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流電源を 延命した場合 B.直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流電源を 延命した場合 B.直流電源を 延命した場合				
運転停止中 において取 り付けた 冷却材 供給能力 不足による 事故が発生 した場合	代替系 再 始 動 手 順	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1
		炉心出口温度	1	1	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	1	ケース 1
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	1(1)	1	0	①	—	原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	1	ケース 1
		原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	②	—	格納容器水位	1	1	0	1	ケース 1
		格納容器水位	1	1	0	③	—	燃料取扱器用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2
		燃料取扱器用水ピット水位	2	2	1	③	—	抽油機水位	2(2)	2	1	1	ケース 2
		抽油機水位	2	2	1	③	—	B-格納容器スレー ン出口積算流量(PAM 用)	1	1	0	1	ケース 2
		B-格納容器スレー ン出口積算流量(PAM 用)	1	1	0	③	—	代替格納容器スレー ン出口積算流量	1	1	0	1	ケース 2
代替格納容器スレー ン出口積算流量	1	1	0	③	—	A-高圧注入ポンプ 動作 器表示(運転状態)	—	—	—	—	—		
A-高圧注入ポンプ 動作 器表示(運転状態)	—	—	—	③	—	A-高圧注入ポンプ 動作 器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	—	
A-高圧注入ポンプ 動作 器表示(運転状態)	—	—	—	③	—	原子炉補機冷却水ポン プ動作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	—	
原子炉補機冷却水ポン プ動作器表示(運転状態)	—	—	—	③	—	原子炉補機冷却水ポン プ動作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	—	
原子炉補機冷却水ポン プ動作器表示(運転状態)	—	—	—	③	—	原子炉補機冷却水ポン プ動作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	—	

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全・すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

「 」の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	A直流電流を 延命した場合	D直流電流を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接		A直流電流を 延命した場合
蒸気発生器2次側 タービン動油補助給水ポンプ 又は補助油助給水ポンプ による蒸気発生器への注 水 判断基準 原子炉冷却材圧力 (注水)	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	炉心出口温度	1	1	1	0	1*1	ケース 1
	燃料車替用水位	2(2)	2	2	①	—	燃料車替用水位	2(2)	2	2	1	1	ケース 3
	加圧器水位	4(2)	4	4	①	—	加圧器水位	4(2)	4	4	1	1	ケース 3
	原子炉容器水位	1	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	1	ケース 3
	格納容器圧縮蒸気ポンプ 水位(広域)	2(2)	2	2	①	—	格納容器圧縮蒸気ポンプ 水位(広域)	2(2)	2	2	1	1	ケース 3
	補助給水ポンプ水位	2(2)	2	2	①	—	補助給水ポンプ水位	2(2)	2	2	1	1	—
	余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	2	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ操作器表 (運転状態)	2	2	2	0	0	—
	余熱除去ポンプ電流	2	2	2	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認する パラメータ	余熱除去ポンプ操作器表 (運転状態)	2	2	2	0	0	—

*1 常系系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流電圧を 延命した場合	B.直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接		SBC影響 A.直流電圧を 延命した場合	B.直流電圧を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) タービン動補給給水ポンプ 又は駆動補助給水ポンプ による蒸気発生器への注水	判断基準	母線電圧、2L電圧	2	2	0	0	③	和吹線1L、2Lの受電状態を監視するパラメータ	和吹線1L、2L、後志幹線1L、2L最終遮断警報	—	—	—	—	—		
		後志幹線1L、2L電圧	2	2	0	0	③	後志幹線1L、2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—	—	—		
		甲母線電圧、乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲、乙母線の受電状態を監視するパラメータ	—	4(2)	4	1	1	—		
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水供給母管流量	5	5	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確	—	M/C補機 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量	8	8	0	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を	—	原子炉補機冷却水ポンプ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通程を 延命した場合	パラムータ 分類	補助的なパラムータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流通程を 延命した場合	B:直流通程を 延命した場合	
蒸気発生器 2 次側 による 炉心 冷却 (往 水) SC直接続水用蒸気ポンプ による蒸気発生器への注 水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	炉心出口温度	1	1 (全)	—	—	—	炉心出口温度	1	1 (全)	1	0	1*1	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—	
	炉心出口温度	1	1 (全)	—	—	—	炉心出口温度	1	1 (全)	1	0	1*1	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—	
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	—	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2 (全)	—	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2 (全)	2	1	1	1	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	補助給水流量	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—
補助給水位	2(2)	2 (全)	1	1	—	—	補助給水位	2(2)	2 (全)	2 (全)	1 (全)	1 (全)	—	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流量測定 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流量測定 延命した場合	B:直流量測定 延命した場合
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 断基等 断水を用いた可憫即大型 送水ポンプ車による蒸気発 生器への注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	1	1	
							補助給水ヒット水位	2(2)	2	2	1	1	
							蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	
							蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数
*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通過を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBC影響 A:直流通過を 延命した場合	B:直流通過を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 代替給水ヒットを水源とし た可動型大型送水ポンプ 車による蒸気発生器への 注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	3 (全)	0	1*1	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—	
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	12(6)	12 (全)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
							1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	—	
							1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	0	—
							1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	1	1	1	—
							補助給水ヒット水位	2(2)	2	2	1	1	1	—
							蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	2 (A,C)	1 (B)	—
						蒸気発生器水位(広域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 原水槽を水源とした可搬型 大口径水の1/2車による蒸 気発生器への注水 判断基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	1	1	
							補助給水レベル	2(2)	2	2	1	1	
							蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	
							蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	0	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数
*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通過を 延命した場合 B:直流通過を 延命した場合			計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流通過を 延命した場合 B:直流通過を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出） 主蒸気連動弁(即時手動 操作)による蒸気放出 判断基準	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 1
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	ケース 1
	低圧注入流量	2(2)	2	1	①	—	燃料取替用水レベル水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	ケース 3
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	ケース 3
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	①	—	格納容器種類監視サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	①	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	ケース 1
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	①	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	ケース 4
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	①	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 4
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	①	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 4

*1 常系から稼働を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能
全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A.直流電圧を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A.直流電圧を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)	判断基準	余熱除去ポンプ出口圧力	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—
		余熱除去ポンプ電流	2	0	0	③	余熱除去ポンプの運転状態を確認するパラメータ	—	—	—
		泊幹線1L, 2L電圧	2	0	0	③	泊幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—
		後志幹線1L, 2L電圧	2	0	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	4(2)	4	1
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給母管流量	5	0	2	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を監視するパラメータ	—	—	—
		原子炉補機冷却海水流量	8	0	4	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を監視するパラメータ	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給母管流量	5	0	2	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を監視するパラメータ	—	—	—
		原子炉補機冷却海水流量	8	0	4	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を監視するパラメータ	—	—	—

全: すべてのループの計器の合計数
A(B,C): 当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンド/低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合			計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合			
蒸気発生器2次側のフューズブレイク ブリード	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		燃料取替用水レベル	2(2)	2	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		加圧器水位	4(2)	4	—	—	—	—	燃料取替用水レベル	2(2)	2	1	1	—
		原子炉容器水位	1	1	—	—	—	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	—	—	—	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	—	—	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	—	—	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
							1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—		
							1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—		
							蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
							蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—		
							蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	—	—	3 (全)	—	
							蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	—	—	3 (全)	—	

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウナダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合 (サポート系機能喪失時の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流量値を 延命した場合	B:直流量値を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流量値を 延命した場合	B:直流量値を 延命した場合						
蒸気発生器2次側のフューードアードブリード 判断基準		補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	3(2)	2	1	1	—		
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
		余熱除去ポンプ電流	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
		泊幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	4(2)	4	1	1	—	
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水供給母管流量	5	5	0	2	—	—	—	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却器水流量	8	8	0	4	—	—	—	—	—	—	—	—	
		補助給水水位													
		蒸気発生器水位(圧減)													
		蒸気発生器水位(装填)													
		余熱除去ポンプ操作器表示(運転状態)													
余熱除去ポンプ操作器表示(運転状態)															
泊幹線1L, 2L, 後志幹線1L, 2L最終遮断警報															
6-A, B母線電圧															
M/C母線電圧低警報															
M/C補機 操作器表示(運転状態)															
原子炉補機冷却水ポンプ操作器表示(運転状態)															
原子炉補機冷却器水ポンプ操作器表示(運転状態)															

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンドリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合						
原子炉格納容器内の作業員退避させる手順等	判断基準	SRP停止時中性子束高 (N31)警報	—	—	—	—	—	—	—	2	3(2)	2	1	1	—		
		SRP停止時中性子束高 (N32)警報	—	—	—	—	—	—	—	—	2	3(2)	2	1	1	—	
		中性子源領域中性子束	2(2)	2	2 (全)	1 (全)	①	—	—	—	2	2(2)	2	1	1	—	
		中性子源領域出動率	2	2	2	0	②	—	—	—	2	2	2	1	1	—	
		1次系純水補給ライン流 量制御	1	1	1	0	③	原子炉補給水制御系の作動状態を確 認するパラメータ	—	—	2	2	4	2	1	1	—
		1次系純水補給ライン流 量積算制御	1	1	1	0	③	原子炉補給水制御系の作動状態を確 認するパラメータ	—	—	2	2	4	2	1	1	—
		加圧器圧力	4	4	4	0	—	—	—	—	4	4	4	0	0	0	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	2	1	①	—	—	—	3	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	0	—
		1次冷却材圧力(低域)	3(3)	3	3 (全)	0	—	—	—	—	3	3(3)	3 (全)	0	0	3 (全)	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A:直流電源を 延命した場合 B:直流電源を 延命した場合					
原子炉格納容器内の作業員退避させる手順等	判断基準	加圧器水位	4(2)	4	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
		1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	②	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		低圧注入流量	2(2)	2	1	1	①	—	燃料取替用水レベル水位	2(2)	2	1	1	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	①	—	加圧器水位	4(2)	4	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	原子炉容器水位	1	1	1	1	—
		格納容器圧力(狭域)	2	2	2	2	①	—	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	1	—
		格納容器内温度	2	2	2	2	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	①	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—
		格納容器内温度	2	2	2	2	①	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	①	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2	2	2	2	①	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		格納容器内温度	2	2	2	2	①	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流電圧を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBC影響 A.直流電圧を 延命した場合			
原子炉格納容器内の作業員退避させる手順等	判断基準	格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ)	3(2)	2	1	1	0	1	1	1	—	
		格納容器ガスモニタ	1	0 *1	0	0	0	2	1	1	—	
		格納容器しんがいモニタ	1	0 *1	0	0	0	2	1	1	—	
		エアロックエリアモニタ	1	1	1	0	0	2	1	1	—	
		炉内核計装区域エリアモニタ	1	1	1	0	0	2	1	1	—	
		余熱除去ポンプ出口圧力	2	2	2	0	0	—	—	—	—	
		余熱除去ポンプ電流	2	2	2	0	0	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水供給母管流量	5	5	5	0	2	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水処理器補機冷却水流量	8	8	8	0	4	—	—	—	—	

*1 試料採取に必要なカウンタ電源が喪失するため監視不可

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.4 原子炉冷却材圧力バウンダリ低圧時に発電用原子炉を冷却するための手順等 運転停止中の場合（原子炉格納容器内の作業員を退避させる手順等）

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直接		SBO影響 A:直流電圧を 延命した場合	B:直流電圧を 延命した場合	
原子炉格納容器内の作業員退避させる手順等	判断基準	冷却線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	冷却線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	冷却線1L, 2L, 後志幹線1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	6—A, B母線電圧	4	4	1	1	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—	
		6—A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	M/C主機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—	
		格納容器サンプ水位	2	2	1	0	③	原子炉格納容器内の満たし状態を確認するパラメータ	1次冷却系統ループ水位	2	2	0	0	0	—
		格納容器サンプ水位上昇率	2	2	1	0	③	原子炉格納容器内の満たし状態を確認するパラメータ	格納容器サンプ水位	2	2	1	1	0	—
		全:すべてのループの計器の合計数 A(B,C):当該ループの計器数													

[] の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
蒸気発生器の 冷却水（注水）による 電動補助給水ポンプ又は タービン駆動補助給水ポン プによる蒸気発生器への 注水	判 断 基 準	原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	原子炉補機冷却水ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却 器抽換冷却器母管流量	8	8	0	4	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を 確認するパラメータ	原子炉補機冷却水ポン プ操作器表示(運転状態)	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—

全:すべてのグループの計器の合計数
A(B,C):当該グループの計器数

[] の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的ハロメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） 電動主給水ポンプによる 蒸気発生器への注水 判断基準	油幹線1L, 2L電圧	2	2	0	—	—	油幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—
	後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	—	—	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1
	甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	—	—	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—
	6-C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	—	—	M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)
	蒸気発生器水位(広域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)
	脱気器タンク水位	1	1	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)
							補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1
							蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)
							蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	バックアップ電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	バックアップ電源を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） SC直接給水用高圧ボンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(狭域)	2(2)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	—	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
主給水ライン流量	0	9	0	0	—	—	—	—	—		
蒸気発生器水張り流量	1	1	0	0	—	—	—	—	—		
補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	抽出パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合		
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） 滞水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による蒸気 発生器への注水	判断基準	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3(全)	2(A,C)	1(B)	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	—	
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3(全)	—	—	—	—	3(全)	3(全)	0	3(全)	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3(全)	—	—	—	—	—	3(全)	3(全)	0	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2(2)	—	—	—	—	—	2	1	1	—
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）	判断基準	蒸気発生器水位(広域)	12(6)	12(全)	—	—	—	—	3(全)	2(A,C)	1	1	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3(全)	3(全)	—	—	—	3(全)	3(全)	0	3(全)	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3(全)	—	—	—	—	—	3(全)	3(全)	0	—
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）	判断基準	補助給水ピット水位	2(2)	2(2)	—	—	—	—	2	1	1	—	
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3(全)	1(B)	2(A,C)	—	—	3(3)	3(全)	2(A,C)	1	1
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水）	判断基準	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	—	—	—	—	12(全)	3(全)	3(全)	3(全)	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
蒸気発生器2次側による炉心冷却（注水） 代替給水ピットを水源とし た可搬型大容量送水ポンプ 車による蒸気発生器への 注水	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	—	3 (全)	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	—	3 (全)	0	—	
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	—	
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	—	
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	—	
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	—	
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2 (全)	—	—	—	—	—	2 (全)	1	1	—
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	—	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
	補助給水ピット水位	2(2)	2 (全)	—	—	—	—	—	2 (全)	1	1	—
蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数
*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	印直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合					
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) 原水槽を水源とした可養 型大型送水ポンプ車によ る蒸気発生器への注水	判断基準 1次冷却材温度(広域-高 温側) 1次冷却材温度(広域-低 温側) 蒸気発生器水位(広域) 蒸気発生器水位(狭域) 補助給水量	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	3 (全)	—		
		3(3)	3 (全)	0	3 (全)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	0	—	
		3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	3 (全)	0	—
		12(6)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
		3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	1 (B)	—	
		3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		2(2)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	2(2)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	1 (全)	—	
		3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
		3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	—	
		2(2)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	2(2)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	1 (全)	—	
		3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
		12(6)	12 (全)	12 (全)	12 (全)	12(6)	12 (全)	12 (全)	12 (全)	12 (全)	12 (全)	12 (全)	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数
*1 常用品から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直流	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器 冷却器 2 (蒸気発生器側による 放出)	判断基準	原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	0	5	—	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却水流量	8	0	8	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

[] の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出） タービンバイパス弁による炉心冷却（蒸気放出） 判断基準	油幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—
	後立幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	—	—	—
	甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	—	—	—
	6—C1, C2, D母線電圧	3	3	0	0	—	—	—	—	—
	主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	—	—	—
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
	復水器真空(広域)	1	1	0	0	—	—	—	—	—
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのグループの計器の合計数
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対処手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	
蒸気発生機2次側による炉心冷却（蒸気放出） 主蒸気連がし炉理時手 動操作による主蒸気連が し弁の稼働回復 判断基準	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	4	0	0	ケース 1
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3	3	3	—	3	3	0	ケース 6
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3	3	3	—	3	0	3	ケース 6
	原子炉容器水位	1	1	1	1	—	1	1	1	ケース 1
	サブクール度	1	1	1	1	—	1	0	0	ケース 6
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	2	1	1	ケース 6
	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3	3	3	—	3	3	0	ケース 6
	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	4	1	1	ケース 6
	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	2	0	2	ケース 6
	格納容器圧力(AAM用)	2	2	1	1	—	2	0	2	ケース 1
	格納容器圧力(AAM用)	2	2	1	1	—	2	0	2	ケース 1
	格納容器圧力(狭域)	1	1	1	1	—	1	0	0	ケース 1
	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	2	1	1	ケース 6
	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	4	1	1	ケース 1
格納容器圧力(狭域)	1	1	1	1	—	1	0	0	ケース 1	
格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	2	1	1	ケース 6	
格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	2	1	1	ケース 1	
1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3	3	3	—	3	0	3	ケース 6	
1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3	3	3	—	3	3	0	ケース 6	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源交 差命じた場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源交 差命じた場合	
蒸気発生器2次側による 工蒸気速がし液(現場手 動操作)による工蒸気速が し弁の機能回復 判断基準 蒸気発生器2次側による 工蒸気速がし液(現場手 動操作)による工蒸気速が し弁の機能回復										
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)					
	1次冷却材温度(広域-低 温側)									
	1次冷却材温度(広域-高 温側)									
	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2							
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)					
	1次冷却材温度(広域-低 温側)									
	1次冷却材温度(広域-高 温側)									
	補助給水ピット水位	2(2)	2							
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)					
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	2						
	圧幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0					
	後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0					
	甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0					
	6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	1					
制御用空気圧力	2(2)	2	1	1						
原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2						
原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却水流量	8	8	0	4						

全:すべてのループの器の台数
A(B,C):当該ループの器数

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的ハロメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合
蒸気発生器 2 次側 による 知 心 冷 却 (蒸 気 放 出) 主蒸気逃がし弁操作作用可 副型空気ポンプによる主 蒸気逃がし弁の機能回復 判 断 基 準	制御用空気圧力	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—
	主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	3 (全)	3 (全)
	蒸気発生器水位(仮減)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	—	—	3 (全)	3 (全)
	蒸気発生器水位(仮減)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	3 (全)	3 (全)
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	—	—	2	1
	補助給水ピント水位	2(2)	2	—	—	—	—	—	—	2	1
	蒸気発生器水位(仮減)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	3 (全)	3 (全)
	蒸気発生器水位(仮減)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	3 (全)	3 (全)
	蒸気発生器水位(仮減)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	—	—	3 (全)	3 (全)
	蒸気発生器水位(仮減)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	3 (全)	3 (全)

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

「」の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	バロメータ 分類	補助的なバロメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	
可搬型大型送水ポンプ車 を用いたA-1側副用空気 圧縮機(海水浴場)による 主蒸気逃がし弁の機能回 復 蒸気発生器2次側による 知心冷却(蒸気放出)	副用空気圧力	2(2)	2	1	—	—	—	—	—	—
	主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)
	蒸気発生器水位(集域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)
	蒸気発生器水位(集域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)
	副用給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0
	副用給水圧力(集域)	2(2)	2	1	—	—	2(2)	2	1	1
	副用給水ピント水位	2(2)	2	1	—	—	2(2)	2	1	1
	蒸気発生器水位(集域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	バックアップ電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	バックアップ電源を 延命した場合	
蒸気発生器2次側のフオートド ドフオート 判断基準	原子炉補給冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	—	—	—	—	—
	原子炉補給冷却水冷却 器補給冷却海水流量	8	8	0	4	—	—	—	—	—
	1次冷却材温度広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0	3 (全)
	1次冷却材温度広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	—	3 (全)	0	3 (全)
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	—	3 (全)	0	3 (全)
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	3 (全)	0	3 (全)
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	3 (全)	0	3 (全)
	原子炉補給冷却水ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	原子炉補給冷却水ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	1次冷却材温度広域-低 温側)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	炉心出口温度	—	—	—	—	—	—	—	—	—

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を直流電源可能

全:すべてのグループの計器の合計数
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響		推定ケース	
				A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
蒸気発生器2次側のフイードアン ドロワード	操作	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	—	—	—	—	—
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—	—	—
		主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—	—	—
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	—	—	—	—	—
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—	—	—
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—	—	—
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—	—	—
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	—	—	—	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2 (2)	1	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数
*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直流	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直流		
格納容器内自然対流冷却	可搬型大型海水を用いた C、D-格納容器内蒸気 ユニットによる格納容器内 自然対流冷却	原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	0	2	5	0	2	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却 器抽換冷却器水流量	8	0	4	8	0	4	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハバメータ 分類	補助的ハバメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合
代替 補機 冷却	判断基準	原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するハバメータ	原子炉補機冷却水ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却海水流量	8	8	0	4	③	原子炉補機冷却海水系の運転状態を 確認するハバメータ	原子炉補機冷却海水ポン プ操作器表示(運転状態)	—	—	—
	操作	A-高圧注入ポンプ電動 機補機冷却水流量	2	2	1	1	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	A-高圧注入ポンプ操作 器表示(運転状態)	—	—	—
		A-高圧注入ポンプ及び 油冷母器補機冷却水流量	2	2	1	1	③	高圧注入ポンプの運転状態を確認する パラメータ	A-高圧注入ポンプ操作 器表示(運転状態)	—	—	—
代替 補機 冷却	判断基準	原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	—	—	原子炉補機冷却水ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却海水流量	8	8	0	4	—	—	原子炉補機冷却海水ポン プ操作器表示(運転状態)	—	—	—
	操作	A-制御用空圧補機補 機冷却水流量	1	1	0	0	—	—	A-制御用空圧補機補 機冷却水流量	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
可 搬 型 大 容 量 代 海 水 送 水 機 を 用 いた 代 替 心 冷 却 機 による 熱 輸 送 機 能 の 喪 失 時 の 手 順 等	判 断 基 準	原子炉補機冷却水冷却器 補機冷却器水流量	8	0	4	—	—	—	—	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	0
操 作	—	原子炉補機冷却水冷却器 補機冷却器水流量	8	0	4	—	—	—	—	—
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	—	3 (全)	0

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数
*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポータ系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響								
				A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合							
タービン駆動補助給水ポンプ又は電動補助給水ポンプによる蒸気発生器への注水 蒸気発生器 2 次側 による 炉心 冷却 (注水)		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	推定ケース		
	油幹線 1L, 2L 電圧	2	2	0	0	③	油幹線 1L, 2L の受電状態を監視する パラメータ		油幹線 1L, 2L, 巻巻幹線 1L, 2L 最終遮断警報	—	—	—	—	—		
	後巻幹線 1L, 2L 電圧	2	2	0	0	③	後巻幹線 1L, 2L の受電状態を監視する パラメータ		6-A, B 母線電圧	4(2)	4	1	1	—		
	甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラ メータ		M/C 母線電圧低警報	—	—	—	—	—		
	6-A, B, C1, C2, D 母 線電圧	7(2)	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ		M/C 補機 操作表示 (運転状態)	—	—	—	—	—	—	
	蒸気発生器 水位(低域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	①	—		蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	ケース 1	
	蒸気発生器 水位(中域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	①	—		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 4	
	蒸気発生器 水位(高域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	①	—		1次冷却材温度(広域-高 温側)	12(6)	12 (全)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 1	
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	①	—		蒸気発生器水位(低域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0	ケース 4	
	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2 (全)	2	1	1	ケース 4	
			補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
			蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	①	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	ケース 3
			蒸気発生器水位(中域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	①	—	蒸気発生器水位(中域)	12(6)	12 (全)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	ケース 3

全:すべてのグループの計器の合計数
A(B,C):当該グループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 直後	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却(注水) SC直接給水用高圧ボンプによる蒸気発生器への注水	判断基準	蒸気発生器水位(鉄域)	12(6)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(鉄域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
		蒸気発生器水位(鉄域)	3(3)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(鉄域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		補助給水流量	3(3)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)	1	1	—	—	蒸気発生器水位(鉄域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
								蒸気発生器水位(鉄域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
								蒸気発生器水位(鉄域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
								蒸気発生器水位(鉄域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
								蒸気発生器水位(鉄域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
								蒸気発生器水位(鉄域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
								蒸気発生器水位(鉄域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポータ系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器 2 次側 による 知 心 冷 却 (注 水) 断 基 準 断 水 を 用 いた 可 動 型 大 型 送 水 ポ ンプ 車 に 是 る 蒸 気 発 生 器 へ の 注 水	蒸気発生器水位(広域)	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		補助結水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	0
		補助結水流量	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2 (全)	1	1	1

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サブポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器 2 次側 による 炉心 冷却 (注水) 代替給水じボを水源とし た可搬型大流量送水ポンプ 車による蒸気発生器への 注水	明 断 基 事	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	3(3)	0	3 (全)	—
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	—			
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	0	—		
		炉心出口温度	1	1	0	1*1	—			
		蒸気発生器水位(広域)	12(6)	12 (全)	—	—	3(3)	2 (A,C)	1 (B)	—
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	3(3)	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	3(3)	3 (全)	0	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	—	2(2)	1	1	—
		補助給水ポンプ水位	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	3(3)	2 (A,C)	1 (B)	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	—	—	12(6)	3 (全)	3 (全)	—

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのグループの計器の合計数

A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サブポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合 B直流電源を 延命した場合		
蒸気発生器 2 次側 による 炉心 冷却 (注水) 原水槽を水源とした可搬 型大型送水ポンプ重によ る蒸気発生器への注水	判断 基準	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		炉心出口温度	1	1	0	—	—	炉心出口温度	1	1	0	1*1	—
		1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
		蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 範囲)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 範囲)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ポンプ水位	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	補助給水ポンプ水位	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのグループの計器の合計数

A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合				
蒸気発生器2次側による 主蒸気速がし弁(現場手 動操作)による主蒸気速が し弁の機能回復 判断基準 如心冷却(蒸気放出)		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	1	1	—	—	—	—	4	4	0	0	ケース 1	
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	1	1	—	—	—	—	3(3)	3(全)	3(全)	0	0	ケース 6
		1次冷却材圧力(広域)	3(3)	3	0	0	—	—	—	3(全)	3(全)	3(全)	3	3	ケース 6
		原子炉容器水位	4(2)	4	1	1	—	—	—	1	1	1	1	1	ケース 1
		サブクール度	4(2)	4	1	1	—	—	—	1	1	0	0	0	ケース 6
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	2	2	1	1	1	ケース 6
		1次冷却材圧力(広域)	3(3)	3	3	3	—	—	—	3(全)	3(全)	3(全)	0	0	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	4	4	1	1	1	ケース 6
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	2	2	0	0	2	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	4	4	0	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	2	2	1	1	1	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	2	2	—	—	—	4	4	1	1	1	ケース 1
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	1	1	0	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	2	2	1	1	1	ケース 6
	格納容器再循環サンプ水 位(狭域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	2	2	1	1	1	ケース 1	
	主蒸気ライン圧力	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—	—	—	3(全)	3(3)	3(全)	0	3(全)	ケース 6	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サブポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による 炉心冷却(蒸気放出) 主蒸気速がし率(炉内手 動操作用)による主蒸気速が し率の検出回数	判断基準	蒸気発生器水位(広域)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	①	—	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	コース 4	
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	3 (全)	3 (全)	①	—	12(6)	3 (全)	0	3 (全)	コース 1	
		補助結水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	①	—	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	コース 3
		1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	①	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	コース 4
		1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	3 (全)	①	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	コース 4
		1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2 (全)	2 (全)	2 (全)	①	—	2(2)	2 (全)	1	1	コース 4

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価		
		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響		パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響			
				A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却(蒸気放出)	判断基準 主蒸気速がし昇(理)機手 動操作による主蒸気速が し昇の機能回復	油幹線1L, 2L電圧	2	0	0	③	油幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	油幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終運搬警報	—	—	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	0	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパ ラメータ	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	—	—	
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—	
		制御用空気圧力	2(2)	1	1	③	制御用空気系の動作状態を監視する パラメータ	M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	0	2	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	制御用空気圧補機操作 器表示	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水流量	8	0	4	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を 確認するパラメータ	原子炉補機冷却水ポン プ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器2次側による炉心冷却（蒸気放出） 主蒸気発生器がし弁操作作用可能型空気弁ベによる主蒸気速がし弁の機能回復	判断基準 制御用空気が圧力 主蒸気ライン圧力 蒸気発生器水位(狭域) 蒸気発生器水位(狭域) 蒸気発生器水位(狭域) 補助給水流量	制御用空気が圧力	2(2)	1	1	—	—	制御用空気が圧力補機操作器表示	—	—	—	—		
		主蒸気ライン圧力	12(6)	3(全)	3(全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	0	3(全)	—	
		蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	3(全)	3(全)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3(全)	2(A,C)	1(B)	—	
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3(全)	2(A,C)	1(B)	—	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—
		蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3(全)	3(全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	3(全)	3(全)	0	3(全)	—
		補助給水流量	3(3)	3(全)	1(B)	2(A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-低温側)	2(2)	2	1	1	—
		補助給水流量	3(3)	3(全)	1(B)	2(A,C)	—	—	補助給水ピント水位	2(2)	2	1	1	—
		補助給水流量	3(3)	3(全)	1(B)	2(A,C)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3(全)	2(A,C)	1(B)	—
		補助給水流量	3(3)	3(全)	1(B)	2(A,C)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—
		補助給水流量	3(3)	3(全)	1(B)	2(A,C)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12(全)	3(全)	3(全)	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合 B:交流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	
可搬型大型冷却水ポンプ車 を用いたA-制御用空気 圧縮機(海水冷却)による 主蒸気速がし弁の機能回 復 蒸気発生器2次側による 知心冷却(蒸気放出)	制御用空気圧力	2(2)	2	1	—	—	制御用空気圧縮機操作 器表示	—	—	—
	主蒸気ライン圧力	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0
	補助給水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	1次冷却材圧力(広域)	2(2)	2	1
	補助給水水位	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	—	—	補助給水ピント水位	2(2)	2	1
	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	1 (B)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)
	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)
	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(狭域)	3(3)	3 (全)	3 (全)

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サボート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称 ()内はPAM	計器数	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		
				直後	B直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合	
蒸気発生器2次側のフューードアン ドブレード 判断基準	油幹線1L, 2L電圧	油幹線1L, 2L電圧	2	0	0	油幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—
	後志幹線1L, 2L電圧	後志幹線1L, 2L電圧	2	0	0	—	—	—	—	
	甲母線電圧, 乙母線電圧	甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	6-A, B母線電圧	4(2)	1	1	—
	6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	1	1	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水供給 母管流量	原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	0	2	M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—
	原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却母管流量	原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却母管流量	8	0	4	原子炉補機冷却水ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)
	1次冷却材温度(広域-低 温側)	1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	0	3 (全)	炉心出口温度	1	0	1*1	—
						1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	0	0
						炉心出口温度	1	0	1*1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数
*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
蒸気発生器2次側のファイアドアン ドブロード 判断基準	蒸気発生器水位(広域)	12(6)	3 (全)	3 (全)	—	—	蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—	
							1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
							1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
							蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—	
							1次冷却材温度(広域-低 温側)	3(3)	3 (全)	0	3 (全)	—	
							1次冷却材温度(広域-高 温側)	3(3)	3 (全)	3 (全)	0	—	
	補助結水流量	3(3)	3 (全)	1 (B)	2 (A,C)	—	—	補助結水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
								蒸気発生器水位(広域)	3(3)	3 (全)	2 (A,C)	1 (B)	—
								蒸気発生器水位(狭域)	12(6)	12 (全)	3 (全)	3 (全)	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		
				直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合	直後	
格納容器内自然対流冷却	可搬型大型蒸気ポンプ車を用いたC、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	油幹線1L, 2L電圧	2	0	0	油幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—
		後志幹線1L, 2L電圧	2	0	0	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	4(2)	1	1	—
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	1	1	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポータ系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称 ()内はPAM	計器数	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		
				直後	B直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合	
代替補機冷却 可搬型大型送水ポンプ車 によるA、前注注入水 ア海水冷却への補機冷 却水(海水)通水	油幹線1L, 2L電圧	2	0	0	③	油幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	—	—	—	—
	後志幹線1L, 2L電圧	2	0	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—
	甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパ ラメータ	4(2)	1	1	—
	6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	—	—	—	—
	炉心出口温度	1	0	1*1	②	—	3(3)	3 (全)	0	ケース 1
	格納容器高圧レンジエリア モニタ(高圧レンジ)	2(2)	1	1	①	—	3(3)	3 (全)	3 (全)	ケース 1
			2	1	1		2(2)	2	1	ケース 1
							7	7	0	ケース 1

*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C): 当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポータ系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 B直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合 B直流電源を 延命した場合	
代替機冷却	可搬型大型送水ポンプ車 によるA-制御用空気圧 補機(浄水冷却)への補機 冷却水(浄水)通水	油幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	油幹線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終運搬警報	—	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	—	—	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	—
		甲島機電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	—	—	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	1	—	—	M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—
		A-制御用空気圧力	1(1)	1	1	0	—	—	A-制御用空気圧補機操 作器表示	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	—	—	原子炉補機冷却水ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却水流量	8	8	0	4	—	—	原子炉補機冷却水ポンプ 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—
		全:すべてのループの計器の合計数 A(B,C):当該ループの計器数											

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.5 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための手順等 サポート系機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称 ()内はPAM	計器数	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響			
				直後	A直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合		
可 搬 型 大 容 量 海 水 送 水 ポンプ車による代替補機冷却	判断基準 補機冷却水(可搬型大容量海水送水ポンプ車冷却)による負荷除去ポンプを用いた代替補機冷却	油幹線1L, 2L電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	0	0	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	0	—	—	4	1	—	
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	1	1	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水供給母管流量	5	0	2	—	—	—	—	—	
		原子炉補機冷却水冷却器補機冷却母管流量	8	0	4	—	—	—	—	—	
		1次冷却材温度(広域-高温側)	3(3)	3 (全)	0	—	—	3 (全)	0	3 (全)	—
		1次冷却材温度(広域-低温側)	3(3)	0	3 (全)	—	—	3 (全)	3 (全)	0	—
		炉心出口温度	1	1	1	—	—	1	0	1*1	—
		炉心出口温度	1	1	1	—	—	1	0	1*1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数
*1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直接	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
格納容器内自然対流冷却 C、D-格納容器再循環 ユニットによる格納容器内 自然対流冷却	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	ケース 1
		—	—	—	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	ケース 1
	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1
		—	—	—	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	ケース 1
	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		—	—	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	①	—	格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
		—	—	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
	—	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対処手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレインによる代替格納容器スプレイ 判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	①	2	2	0	2	ケース 1	
		格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—	—	1	1	0	0	ケース 1
	格納容器内温度	2(2)	2	2	0	2	—	①	2	2	1	1	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	4	4	1	1	ケース 1
	格納容器圧力(狭域)	1	2	0	2	—	①	1	1	0	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	2	0	—	—	2	2	1	1	ケース 6
	燃料取扱用水ピット水位	2	2	0	0	—	②	2	2	1	1	1	ケース 3
		格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	0	—	—	2	2	1	1	ケース 3
	燃料取扱用水ピット水位	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	—	①	1	1	1	1	ケース 3
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	①	2	2	1	1	ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレインプによる代替格納容器スプレインプ	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	ケース 6
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	格納容器圧力(後継)	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2	2	0	2	①	—	格納容器内温度	3(2)	2	1	1	ケース 6
		格納容器圧力(AAM用)	4(2)	4	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1
		格納容器圧力(後継)	1	1	0	0	①	—	格納容器圧力(後継)	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2	2	0	2	①	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		格納容器再循環サンプ水位(仮置)	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器再循環サンプ水位	2(2)	2	1	1	ケース 1
		原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	0	①	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器水位	1	1	0	0	①	—	格納容器水位	1	1	0	0	ケース 1
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2		
補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2		
B—格納容器スプレインプ出口積算流量(AAM用)	1	1	0	0	①	—	B—格納容器スプレインプ出口積算流量(AAM用)	1	1	0	0	ケース 2		
代替格納容器スプレインプ出口積算流量	1	1	0	0	①	—	代替格納容器スプレインプ出口積算流量	1	1	0	0	ケース 2		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響				
				A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
代替格納容器スプレイト ポンプによる代替格納容 器スプレイト	格納容器水位	1	1	0	1	—	—	—	—	—		
		燃料取水用ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	ケース 2		
	代替格納容器スプレイト ポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	—	—		
		燃料取水用ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	ケース 3		
	操作	代替格納容器スプレイト ポンプ出口積算流量	6	6	0	6	代替非常用発電機電圧、 電力、周波数	③	6	6	6	—
		6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	非常用高圧母線の受電状態を監視す るパラメータ	③	—	—	—	—
	燃料取水用ピット水位	2(2)	2	1	1	1	—	—	—	—	—	—
		燃料取水用ピット水位	2(2)	2	1	1	格納容器内循環サブ水 位(広域)	①	1	1	1	ケース 2
	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	—	—	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	1	1	1	1	代替格納容器スプレイト ポンプ出口積算流量	③	1	1	1	ケース 2
		1	1	1	1	代替格納容器スプレイト ポンプ出口圧力	③	1	1	1	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	圧力電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	圧力電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ 電動機駆動ポンプ又は ポンプ駆動消火ポンプ スプレイによる代替格納容器 スプレイ	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	代替格納容器スプレイが シンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	ろ過タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	格納容器圧力(AM用)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	—	—	—
原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
格納容器圧力(狭域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
格納容器再循環シンプ水 (位広域)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対処手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハラムータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
代替格納容器スプレイ 電動機駆動消火ポンプ又は ターボゼーゼル駆動消火ポンプ による代替格納容器 スプレイ	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2	2	0	2	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	1	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	1	—
		B—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1	—	—	—	格納容器水位	1	1	0	1	—
代替格納容器スプレイ中 心サンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—		
ろ過タンク水位	2	2	0	2	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—		
AM用消火水積算流量	1	1	0	1	—	—	—	AM用消火水積算流量	1	1	0	0	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハバメータ 分類	補助的ハバメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合
代替格納容器スプレイ 電動機駆動消火ポンプ又は ディーゼル駆動消火ポンプによる代替格納容器 スプレイ	操作	格納容器水位	1	1	0	1	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1
		格納容器水位	1	1	0	1	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1
		格納容器水位	1	1	0	1	—	E-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	1
		格納容器水位	1	1	0	1	—	代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量	1	1	0	1
		格納容器水位	1	1	0	1	—	AM用消火水積算流量	1	1	0	0
		AM用消火水積算流量	1	1	0	0	ろ過水タンク水位	2	2	0	0	
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	格納容器再循環サンプ水 位(表域)	2(2)	2	1	1	
			2	2	0	0						

全:すべてのループの計器の合計数
AMB,C:当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的ハロメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		代替格納容器スプレイが シンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
									原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
									格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
									格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
									燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
									補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
									格納容器再循環シンプ水 (位広域)	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
代 替 格 納 容 器 ス プ レ イ 海水を用いた可搬式大型 送水ポンプ車による代替 格納容器スプレイ	操 作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	4(2)	4	1	1	—	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	1	1	0	0	—
		格納容器圧力(AAM)用	2	2	0	2	—	—	—	—	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	2	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	4	4	1	1	—
		格納容器圧力(狭域)	1	1	1	0	—	—	—	—	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	2	2	1	1	—
		格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	—	—	—	—	2	2	1	1	—
		原子炉下部キャビティ水 位	1	1	1	0	—	—	—	—	1	1	0	1	—
		格納容器水位	1	1	1	1	—	—	—	—	1	1	0	1	—
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	1	—	—	—	—	2	2	1	1	—		
補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	—	—	—	—	2	2	1	1	—		
B—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	0	—	—	—	—	1	1	0	1	—		
代替格納容器スプレイ出 口積算流量	1	1	1	0	—	—	—	—	1	1	0	1	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直流	直接的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合
代替格納容器スプレイ	操作	格納容器水位	1	1	0	1	—	—	—	—	—
		燃料取扱用水ビット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	1	1
海水を用いた可搬型大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ	操作	格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	—	—	—	—	—
		燃料取扱用水ビット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	1	1
代替格納容器スプレイ	操作	格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	—	—
		燃料取扱用水ビット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	1	1
代替格納容器スプレイ	操作	格納容器再循環ポンプ水位(AAM)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		燃料取扱用水ビット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	1	1

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的ハロメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		代替格納容器スプレイが 出口積算流量	1	1	0	1	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
									原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
									格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
									格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
									燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
									補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
									格納容器再循環ポンプ水 (位広域)	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイン 燃料給水ピットを水源とし た可搬型大型送水ポンプ 車による代替格納容器ス プレイン	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	4(2)	4	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	4(2)	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM)用	2	2	0	2	—	—	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	4(2)	4	1	1	—
		格納容器圧力(狭域)	1	1	1	0	—	—	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	—	—	2(2)	2	1	1	—
		原子炉下部キャビティ水 位	1	1	1	0	—	—	1	1	0	1	—
		格納容器水位	1	1	1	0	—	—	1	1	0	1	—
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	2(2)	2	1	1	—		
補助給水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	2(2)	2	1	1	—		
B—格納容器スプレイン冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	0	—	—	1	1	0	1	—		
代替格納容器スプレイン サンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	1	1	0	1	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合
代替格納容器スプレイ	操作	格納容器水位	1	1	0	1	—	燃料取扱用水ビット水位	2(2)	2	1	1
		代替給水ビットを本配とした可搬型大流量送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ						補助給水ビット水位	2(2)	2	1	1
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	E—格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1
								代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1
								燃料取扱用水ビット水位	2(2)	2	1	1
								補助給水ビット水位	2(2)	2	1	1
								格納容器内循環ポンプ水位(は臈)	2(2)	2	1	1

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
代替格納容器スプレイ	判断基準 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
										原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
										格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
										格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
										燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
										補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
										格納容器再循環ポンプ水 (位広域)	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
代替格納容器スプレイ 原本機を本類した可搬 型本型送水ポンプ車によ る代替格納容器スプレイ	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	4(2)	4	1	1	—	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	1	1	0	0	—
		格納容器圧力(AAM)用	2	2	0	2	—	—	—	—	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水 位(仮置)	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		原子炉下部キャビタイ水 位	1	1	1	1	—	—	—	—	1	1	0	1	—
		格納容器水位	1	1	1	1	—	—	—	—	1	1	0	1	—
		燃料取動用水ピット水位	2(2)	2	2	1	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		B—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	1	—	—	—	—	1	1	0	1	—
代替格納容器スプレイ中 心出口積算流量	1	1	1	1	—	—	—	—	1	1	0	1	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハバメータ 分類	補助的ハバメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ	操作	格納容器水位	1	1	0	1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	
		代動格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	
		2次系純水タンク水位	2	2	0	0	—	—	E-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	
									燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	
									補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	
									格納容器再循環サブ水位(圧気)	2(2)	2	1	1	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響							
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	冷却線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	補助的パラメータ 分類理由	冷却線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	冷却線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	—	—	
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	補助的パラメータ 分類理由	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	冷却線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	—	—	
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	③	補助的パラメータ 分類理由	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラ メータ	6-A, B母線電圧	4	4	1	1	—	—	—
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	1	③	補助的パラメータ 分類理由	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補給冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	③	補助的パラメータ 分類理由	原子炉補給冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	M/C補給 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉補給冷却水冷却 器補給冷却水流量	8	8	0	4	③	補助的パラメータ 分類理由	原子炉補給冷却水系の運転状態を 確認するパラメータ	原子炉補給冷却器ポン プ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	補助的パラメータ 分類理由	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	0	2	2	ケース 1
		格納容器内湿度	—	—	—	—	—	補助的パラメータ 分類理由	—	格納容器内湿度	3(2)	3	2	2	1	1	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	補助的パラメータ 分類理由	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	4	4	1	1	ケース 1
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	補助的パラメータ 分類理由	—	格納容器圧力(監視)	1	1	1	0	0	0	ケース 1
		格納容器内湿度	—	—	—	—	—	補助的パラメータ 分類理由	—	格納容器内湿度	3(2)	3	2	2	1	1	ケース 6
		燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	補助的パラメータ 分類理由	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	2	1	1	ケース 3
		格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	補助的パラメータ 分類理由	—	格納容器可循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	2	2	1	1	ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後	直後	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後	
代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	B-2格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	0	1	①	2(2)	1	1	ケース 3	
		1	0	1	①	2(2)	1	1	ケース 3	
代替格納容器スプレイ	燃料取扱費用水ピット水位	2(2)	1	1	①	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

[] の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	圧力電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	圧力電源を 延命した場合						
代替格納容器スプレイポンプ自己冷却による代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	1	1	0	1	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハバメータ 分類	補助的ハバメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代 替 格 納 容 器 ス プ レ イ B-格納容器スプレイポン プ(自己空引)による代替 格納容器スプレイ	操 作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	4	1	1	—	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	1	1	0	0	—
		格納容器圧力(AAM)用	2	2	0	2	—	—	—	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	2	2	1	1	—
		格納容器再循環サブ水 位(仮置)	2(2)	2	2	2	—	—	—	2	2	1	1	—
		原子炉下部キャビタイ水 位	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0	1	—
		格納容器水位	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	1	—	—	—	2	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	—	—	—	2	2	1	1	—
		B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0	1	—
代替格納容器スプレイ中 心出口積算流量	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0	1	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合
代 替 格 納 容 器 ス プ レ イ B-格納容器スプレイポン プ(自己冷却)による代替 格納容器スプレイ	操 作	格納容器水位	1	1	1	—	—	—	—	—	—
		B-格納容器スプレイ流 量	1	1	0	—	—	—	—	—	—
		B-格納容器スプレイポン プ機器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	—	—	—	—	—	—
		B-格納容器スプレイポン プ補機冷却水流量	1	1	0	—	—	—	—	—	—
		B-格納容器スプレイポン プ電動機補機冷却水流量	1	1	0	—	—	—	—	—	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	—	—	—	—	—	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	—	—	—	—	—	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	—	—	—	—	—	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	—	—	—	—	—	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	計器名称	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	計器名称	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ ダイセル駆動消火ポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	4(2)	原子炉格納容器圧力	4	1	1	—	—	—	—
		2	格納容器圧力(AM用)	2	0	2	—	—	—	—
		1	B-格納容器スプレイ流量	1	0	0	—	—	—	—
		1	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	0	1	—	—	—	—
		2	ろ過タンク水位	2	0	0	—	—	—	—
		2	格納容器圧力(AM用)	2	0	2	—	—	—	—
		2(2)	格納容器内温度	2(2)	—	—	—	—	—	—
		4(2)	原子炉格納容器圧力	4(2)	—	—	—	—	—	—
		1	格納容器圧力(狭域)	1	—	—	—	—	—	—
		2	格納容器内温度	2	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後	計器名	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後	計器名			
代替格納容器スプレイ 断水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替 格納容器スプレイ	判断基準	4(2)	1	1	—	—	原子炉格納容器圧力	格納容器圧力(AM用)	2	0	2	—
							原子炉格納容器圧力(狭域)	1	0	1	—	
		2	0	2	—	—	—	格納容器圧力(AM用)	1	0	0	—
		1	0	0	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	1	1	—
		1	0	1	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	1	1	—
		1	1	1	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	0	0	—
		1	1	0	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	—
		1	1	0	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	—
		1	1	0	—	—	—	格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	—
		1	1	0	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	—
							格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対処手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	抽出パラメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合
代替格納容器スプレイ 判断基準 代替給水ピットを水源とし た可搬型入射送水ポンプ 重による代替格納容器ス プレイ	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	2	0	2	—
		2	2	0	2	—	—	1	0	0	—
		1	1	0	1	—	—	2	1	1	—
		1	1	0	0	—	—	2	1	1	—
		1	1	0	0	—	—	2	1	1	—
		1	1	0	0	—	—	2	1	1	—
		1	1	0	0	—	—	2	1	1	—
		1	1	0	0	—	—	2	1	1	—
		1	1	0	0	—	—	2	1	1	—
		1	1	0	0	—	—	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対処手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	印直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	印直流電源を 延命した場合			
代 替 格 納 容 器 ス プ レ イ 原水槽を水源とした可搬 型大口径ポンプ車によ る代替格納容器スプレイ	原子炉格納容器圧力 格納容器圧力(AM用)	4(2)	4	1	1	—	—	—	2	0	2	—
		1	1	0	0	—	—	—	1	0	0	—
		2	2	0	2	—	—	—	1	0	0	—
		4(2)	4	1	1	—	—	—	4	1	1	—
	原子炉格納容器圧力 格納容器圧力(狭域)	2	2	0	2	—	—	—	1	0	0	—
		2(2)	2	2	2	—	—	—	2	1	1	—
		2(2)	2	2	2	—	—	—	2	1	1	—
		2(2)	2	2	2	—	—	—	2	1	1	—
	燃料取扱用水ピット水位 補助給水ピット水位 格納容器再循環サンプ水 (仮広域)	1	1	1	0	—	—	—	2	1	1	—
		1	1	0	0	—	—	—	2	1	1	—
		2(2)	2	2	2	—	—	—	2	1	1	—
		2(2)	2	2	2	—	—	—	2	1	1	—
燃料取扱用水ピット水位 格納容器再循環サンプ水 (仮広域)	1	1	1	0	—	—	—	2	1	1	—	
	1	1	0	0	—	—	—	2	1	1	—	
	2(2)	2	2	2	—	—	—	2	1	1	—	
	2(2)	2	2	2	—	—	—	2	1	1	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(炉心の著しい損傷防止のための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		評価ケース		
				直後	A直流電源を 延命した場合					直後	A直流電源を 延命した場合			
格納容器内自然対流冷却 可搬型大型冷却ポンプ車 を用いたC、D-格納容器 再循環ユニットによる格納 容器内自然対流冷却	判断基準	冷却線1L, 2L電圧	2	0	③	冷却線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	冷却線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—	—		
		後志幹線1L, 2L電圧	2	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—			
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラ メータ	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	—		
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—		
		原子炉補給冷却水供給 母管流量	5	0	③	原子炉補給冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	M/C補給 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—		
		原子炉補給冷却水冷却 器補給冷却水流量	8	0	③	原子炉補給冷却水系の運転状態を 確認するパラメータ	原子炉補給冷却水ポン プ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C): 当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合			B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合		B直流電源を 延命した場合	
格納容器内自然対流冷却	判断基準 C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	ケース 1
		格納容器圧力(狭域)							格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度							格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		原子炉格納容器圧力							原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1
		格納容器圧力(AM用)					①	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度							格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		燃料取扱用水ピット水位							燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
		格納容器スプレイ流量					②	—	格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)					①	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
									格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対処手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合							
代替格納容器スプレインフによる代替格納容器スプレイ 判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	ケース 1	
		—	—	—	—	①	—	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	ケース 1
	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	①	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	ケース 1
	格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	②	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	①	—	—	—	—	格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的ハロメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレインプによる代替格納容器スプレインプ	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	ケース 6
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	格納容器圧力(後継)	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2	2	2	2	①	—	格納容器内温度	3(2)	2	1	1	ケース 6
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1
		格納容器圧力(後継)	1	1	1	1	①	—	格納容器圧力(後継)	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2	2	2	2	①	—	格納容器内温度	3(2)	2	1	1	ケース 6
		格納容器再循環サブ水位(仮置)	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器再循環サブ水位(仮置)	2(2)	2	1	1	ケース 1
		原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	1	①	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	ケース 1
		格納容器水位	1	1	1	1	①	—	格納容器水位	1	1	0	1	ケース 1
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	1	①	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2		
補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	①	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2		
B—格納容器スプレインプ出口積算流量(AAM用)	1	1	1	1	①	—	B—格納容器スプレインプ出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	ケース 2		
代替格納容器スプレインプ出口積算流量	1	1	1	1	①	—	代替格納容器スプレインプ出口積算流量	1	1	0	1	ケース 2		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B/C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイン ポンプによる代替格納容器 スプレイン	操作	格納容器水位	1	1	0	1	①	—	燃料取水用ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2
		代替格納容器スプレインポンプ出口積算流量	1	1	0	1	①	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2
		代替格納容器スプレインポンプ出口積算流量	1	1	0	1	①	—	E-格納容器スプレインポンプ出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	ケース 2
		代替格納容器スプレインポンプ出口積算流量	1	1	0	1	①	—	代替格納容器スプレインポンプ出口積算流量	1	1	0	1	ケース 2
		代替格納容器スプレインポンプ出口積算流量	1	1	0	1	①	—	燃料取水用ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
		代替格納容器スプレインポンプ出口積算流量	1	1	0	1	①	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
		代替格納容器スプレインポンプ出口積算流量	6	6	0	6	③	代替非常用発電機電圧、電力、周波数	代替非常用発電機電圧、電力、周波数(現場)	6	6	6	6	—
		6-A, B母線電圧	7(2)	7	1	1	③	非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—
		燃料取水用ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	M/C機軸 操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	格納容器内循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	1
補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	代替格納容器スプレインポンプ出口積算流量	1	1	0	1	1	ケース 2	
代替格納容器スプレインポンプ出口圧力	1	1	1	1	③	代替格納容器スプレインポンプの運転状態を確認するパラメータ	代替格納容器スプレインポンプ運転状態(現場)	—	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハラムータ 分類	補助的ハラムータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
代替格納容器スプレイ 電動機駆動ポンプ又は ポンプ駆動消火ポンプ による代替格納容器 スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		代替格納容器スプレイが シンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		ろ過タンク水位	2	2	0	0	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
								格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
								格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
								燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
								補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
								格納容器再循環シンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
								ろ過タンク水位	2	2	0	0	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ 電動機駆動消火ポンプ又は ターボゼーゼル駆動消火ポンプ による代替格納容器 スプレイ	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—
		格納容器圧力(AAM)用	2	2	0	2	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	—
		原子炉下部キャビティ水 位	1	1	1	0	—	—	—	—
		格納容器水位	1	1	1	0	—	—	—	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—
		B—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	0	—	—	—	—
代替格納容器スプレイ中 心管出口積算流量	1	1	1	0	—	—	—	—		
ろ過タンク水位	2	2	2	0	—	—	—	—		
AAM用消火水積算流量	1	1	1	0	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハバメータ 分類	補助的ハバメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ 電動機駆動消火ポンプ又は ディーゼル駆動消火ポンプ による代替格納容器 スプレイ	操作	格納容器水位	1	1	0	1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	
		AM用消火水積算流量	1	1	0	0	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	E—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	1	
									代替格納容器スプレイポ ンプ出口積算流量	1	1	0	1	1
									ろ過水タンク水位	2	2	0	0	0
									AM用消火水積算流量	1	1	0	0	0
									ろ過水タンク水位	2	2	0	0	0
									格納容器再循環サンプ水 位(表減)	2(2)	2	1	1	1
									—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合					
代替格納容器スプレイ 断水を用いた可搬四大型 送水ポンプ車による代替 格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		格納容器圧力(狭域)	1	1	0	1	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	0	2	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	1	1	0	1	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環サンプル水 (広域)	2(2)	2	0	2	—	—	格納容器再循環サンプル水 (広域)	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
代 替 格 納 容 器 ス プ レ イ 海水を用いた可搬式大型 送水ポンプ車による代替 格納容器スプレイ	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	4(2)	4	1	1	—	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	1	1	0	0	—
		格納容器圧力(AAM)用	2	2	0	2	—	—	—	—	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	2	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	4	4	1	1	—
		格納容器圧力(狭域)	1	1	1	1	—	—	—	—	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	2	2	1	1	—
		格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	2	2	1	1	—
		原子炉下部キャビティ水 位	1	1	1	1	—	—	—	—	1	1	0	1	—
		格納容器水位	1	1	1	1	—	—	—	—	1	1	0	1	—
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	—	—	—	2	2	1	1	—		
補助給水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	2	2	1	1	—		
B—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	1	—	—	—	—	1	1	0	1	—		
代替格納容器スプレイ中 心出口積算流量	1	1	1	1	—	—	—	—	1	1	0	1	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等
フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラメータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響			評価
				直後	A直流電源を 延命した場合					直後	A直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイン	操作 海水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替 格納容器スプレイン	格納容器水位	1	0	1	—	—	—	—	—	—	—	
		代替格納容器スプレインポンプ出口積算流量	1	0	1	—	—	—	—	—	—	—	
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	1	1	1	—	
		補助給水ピット水位	2(2)	—	—	—	補助給水ピット水位	2	1	1	1	—	
		E-格納容器スプレインポンプ出口積算流量(AM用)	1	0	1	—	E-格納容器スプレインポンプ出口積算流量	1	0	1	1	—	
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	1	1	1	—	
		補助給水ピット水位	2(2)	—	—	—	補助給水ピット水位	2	1	1	1	—	
		格納容器再循環ポンプ水位(圧)	2(2)	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水位(圧)	2	1	1	1	—	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕 の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的ハロメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		代替格納容器スプレイが 出口積算流量	1	1	0	1	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	0	2	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		補助給水ピット水位	1	1	0	1	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水 (位広域)	2(2)	2	0	2	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	1	1	0	1	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水 (位広域)	2(2)	2	0	2	—	—	格納容器再循環ポンプ水 (位広域)	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水 (位広域)	2(2)	2	0	2	—	—	格納容器再循環ポンプ水 (位広域)	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
代替格納容器スプレイン 運転 代替給水ピットを水源とし た可搬型大型送水ポンプ 車による代替格納容器ス プレイン	格納容器内温度	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	4(2)	4	1	1	—	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	1	1	0	0	—	
		格納容器圧力(AAM)用	2	2	0	2	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水 位(伝感)	2(2)	2	1	1	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
	原子炉格納容器圧力	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	4(2)	4	1	1	—
		格納容器内温度	2	2	0	2	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水 位(伝感)	2(2)	2	1	1	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
		原子炉下部キャビタイ水 位	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0	1	—
		格納容器水位	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	2(2)	2	1	1	—
補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	2(2)	2	1	1	—		
B—格納容器スプレイン冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0	1	—		
代替格納容器スプレイン サンプ出口積算流量	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0	1	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハバメータ 分類	補助的ハバメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合
代替格納容器スプレイ	操作	格納容器水位	1	1	0	1	—	—	燃料取替用水ビット水位	2(2)	2	1	1
		代替格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	—	—	補助給水ビット水位	2(2)	2	1	1
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	燃料取替用水ビット水位	2(2)	2	1	1
		格納容器内循環ポンプ水位(仮)	1	1	0	1	—	—	補助給水ビット水位	2(2)	2	1	1

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的ハロメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ	判断基準 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ車による代替格納容器スプレイ	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	1	0	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
									原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
									格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
									格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
									燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
									補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
									格納容器再循環ポンプ水 (位広域)	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	パラメータ 分類	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合			計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
代替格納容器スプレイ 原本機を本類として可搬 型本型送水ポンプ車によ る代替格納容器スプレイ	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	4(2)	4	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM)用	2	2	0	2	—	—	—	2	2	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	2	2	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水 位(仮置)	2(2)	2	2	2	—	—	—	2	2	1	1	—
		原子炉下部キャビタイ水 位	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0	1	—
		格納容器水位	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	—	2	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	—	2	2	1	1	—
		B—格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0	1	—
代替格納容器スプレイ中 心ポンプ出口積算流量	1	1	1	1	—	—	—	1	1	0	1	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 フロントライン系機能喪失時の手順等(格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハバメータ 分類	補助的ハバメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合			
代替格納容器スプレイ	操作	格納容器水位	1	1	0	1	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	E-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	—	
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	
		2次系純水タンク水位	2	2	0	0	—	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		ろ過水タンク水位	2	2	0	0	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	格納容器再循環サブ水位(圧力)	2(2)	2	1	1	—	
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		格納容器水位	1	1	0	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合							
代替格納容器スプレイ 代替格納容器スプレイ 代替格納容器スプレイ 代替格納容器スプレイ 代替格納容器スプレイ 代替格納容器スプレイ 代替格納容器スプレイ 代替格納容器スプレイ 代替格納容器スプレイ 代替格納容器スプレイ 代替格納容器スプレイ 代替格納容器スプレイ 代替格納容器スプレイ	判断基準	冷却線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	補助的パラメータ 分類理由 冷却線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	冷却線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—			
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	冷却線1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—			
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラ メータ	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1	—		
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—		
		原子炉補給冷却水供給 母管流量	5	5	0	2	③	原子炉補給冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	M/C補給 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—	—		
		原子炉補給冷却水冷却 器補給冷却海水流量	8	8	0	4	③	原子炉補給冷却海水系の運転状態を 確認するパラメータ	原子炉補給冷却海水ポン プ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—	—		
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	ケース 1		
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	格納容器圧力(稼働)	1	1	0	0	ケース 1		
		格納容器内湿度	3(2)	3	2	1	1	1	格納容器内湿度	3(2)	3	2	1	1	ケース 6	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	1	1	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	1	ケース 1	
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	格納容器圧力(稼働)	1	1	0	0	0	ケース 1	
		燃料取扱用ホピット水位	2(2)	2	2	1	1	1	—	燃料取扱用ホピット水位	2(2)	2	2	1	1	ケース 6

全:すべてのループの計器の合計数
A(B/C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	圧力電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	圧力電源を 延命した場合						
代替格納容器スプレイ B-格納容器スプレイポン プ(自己冷却)による代替 格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	1	1	0	1	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等

サポート系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	SBO影響		抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器		評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合			計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	A直流電源を 延命した場合	
代 替 格 納 容 器 ス プ レ イ B-格納容器スプレイポン プ(自己空回)による代替 格納容器スプレイ	格納容器内温度	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—	—
	格納容器圧力(AAM)用	格納容器圧力(AAM)用	2	2	0	2	—	—	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	1	—	—	—	—	—	—
	格納容器再循環サンプ水 位(仮置)	格納容器再循環サンプ水 位(仮置)	2(2)	2	2	1	—	—	—	—	—	—
		原子炉下部キャビタイ水 位	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—
	格納容器水位	格納容器水位	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—	—
	補助給水ピット水位	補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	—	—	—	—	—	—
		B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用)	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—
代替格納容器スプレイ中 サンプ出口積算流量	代替格納容器スプレイ中 サンプ出口積算流量	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—	

全:すべてのループの計器の合計数

A(B/C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハバメータ 分類	補助的ハバメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代 替 格 納 容 器 ス プ レ イ B-格納容器スプレイポン プ(自己冷却)による代替 格納容器スプレイ	操 作	格納容器水位	1	1	0	1	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	
		B-格納容器スプレイ流 量	1	1	0	0	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	
		B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	1	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	B-格納容器スプレイ流 量	1	1	0	0	
		B-格納容器スプレイポン プ相隣冷却水流量	1	1	0	0	—	—	B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	1	
		B-格納容器スプレイポン プ電動機相隣冷却水流量	1	1	0	0	—	—	B-格納容器スプレイポン プ操作器表示運転状 態)	—	—	—	—	
									B-格納容器スプレイポン プ操作器表示運転状 態)	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価						
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	温度電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	温度電源を 延命した場合							
代替格納容器スプレイ ダイセル駆動消火ポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—	
		B-格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	
		ろ過タンク水位	2	2	0	0	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—	
										格納容器内温度	2(2)	2	1	1	1	—
										燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	—
										格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	1	—
										燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	—
										格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後	計器名	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後	計器名			
代替格納容器スプレイ 断基車 滞水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替 格納容器スプレイ	原子炉格納容器圧力	4(2)	1	1	—	—	—	格納容器圧力(AM用)	2	0	2	—
		2	0	2	—	—	—	格納容器圧力(AM用)	1	0	0	—
		1	0	0	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	1	1	—
		1	0	0	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	1	1	—
		1	0	0	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	0	0	—
		1	0	0	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	1	1	—
		1	0	0	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	1	1	—
		1	0	0	—	—	—	格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	1	1	—
		1	0	0	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	1	1	—
		1	0	0	—	—	—	格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対処手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	補助的なパラメータ 分類理由	パラメータ 分類	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ 判断基準	代替給水ピットを水源とした可搬型大流量ポンプ車による代替格納容器スプレイ	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—	
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	
		B ₁ -格納容器スプレイ流量	1	1	0	0	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	
		B ₁ -格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—	
								格納容器内温度	2(2)	2	1	1	1	—
								燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	—
								補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	—
								格納容器再循環ポンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	1	—
								燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	—
						格納容器再循環ポンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	1	—		
						燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	—		
						格納容器再循環ポンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	1	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流通電を 延命した場合	直後	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流通電を 延命した場合	直後	
代 替 格 納 容 器 ス プ レ イ 原水槽を水櫃とした可搬 型大型送水ポンプ車によ る代替格納容器スプレイ 判 断 基 準	原子炉格納容器圧力	4(2)	1	1	4	格納容器圧力(AM用)	2	0	2	—
	原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	0	1	—
	原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	1	2	—
	原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	1	4	—
	原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	0	1	—
	原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	1	2	—
	原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	1	2	—
	原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	1	2	—
	原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水 (仮広域)	2(2)	0	2	—
	原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	1	0	1	—
	原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	1	0	1	—
	原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	1	0	1	—
	原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	1	0	1	—
	原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	1	0	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.6 原子炉格納容器内の冷却等のための手順等 サポート系機能喪失時の手順等(格納容器破損を防止するための格納容器内冷却の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合				
格納容器内自然対流冷却 可搬型大型冷却ポンプ車 を用いたC、D-格納容器 内格納ユニットによる格納 容器内自然対流冷却	判断基準	冷却線1L, 2L電圧	2	2	0	0	0	0	0	0	—		
		後立幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	0	0	0	0	—		
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	0	0	0	0	1	—	
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	1	1	1	1	—	—	
		原子炉補給冷却水供給母管流量	5	5	0	0	2	2	—	—	—	—	
		原子炉補給冷却水冷却器補給冷却水流量	8	8	0	0	4	4	—	—	—	—	
		冷却線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	—
		後立幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	—
		甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	—
		常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	—
原子炉補給冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	—		
原子炉補給冷却水系の運転状態を確認するパラメータ	③	③	③	③	③	③	③	③	③	③	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	補助的パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				
格納容器スプレイポンプ による格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	ケース 1
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	格納容器圧力(熱域)	1	1	0	0	ケース 1
		燃料取扱器内温度	2(2)	2	1	1	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		燃料取扱器内温度	2(2)	2	1	1	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1
		燃料取扱器内温度	2(2)	2	0	2	—	格納容器圧力(熱域)	1	1	0	0	ケース 1
		燃料取扱器内温度	2(2)	2	1	1	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		燃料取扱器内温度	2	2	0	0	—	燃料取扱器内温度	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱器内温度	2	2	0	0	—	燃料取扱器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 3
		燃料取扱器内温度	2	2	0	0	—	燃料取扱器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 3
		燃料取扱器内温度	1	1	0	1	—	燃料取扱器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数
AMB, C:当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				補助的パラメータ 分類理由	抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名	
格納容器スプレイポンプ による格納容器スプレイ 操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	①	—	4(2)	4	1	1	ケース 6
	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	①	—	1	1	0	0	ケース 1
	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	①	—	1	1	0	0	ケース 1
	格納容器スプレイ流量	2	2	0	②	—	2(2)	2	1	1	ケース 3
	D-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	①	—	1	1	0	0	ケース 3

全:すべてのグループの計器の合計数
AMB(O):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハバメータ 分類	補助的ハバメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
格納容器スプレイポンプ による格納容器スプレイ 操作		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1					2	1	1	ケース 1
		原子炉下部キャビティ水 位	1	1					1	1	0	1	ケース 1
		格納容器水位	1	1					1	1	0	1	ケース 1
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	①	—		2(2)	2	1	1	ケース 2
		補助給水ピット水位	2(2)	2					2(2)	2	1	1	ケース 2
		B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1					1	1	0	1	ケース 2
		代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量	1	1					1	1	0	1	ケース 2
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2					2(2)	2	1	1	ケース 2
		補助給水ピット水位	2(2)	2		①	—		2(2)	2	1	1	ケース 2
		B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1					1	1	0	1	ケース 2
代替格納容器スプレイ ポンプ出口積算流量	1	1					1	1	0	1	ケース 2		
格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2					2(2)	2	1	1	ケース 2		
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	①	—		2(2)	2	1	0	1	ケース 2	
格納容器スプレイ流量	2	2					2	2	0	0	0	ケース 2	

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合			
格納容器内自熱社流冷却	判断基準 C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	1	0	0	2	ケース 1	
		格納容器圧力(熱域)						1	0	0	0	ケース 1
		格納容器内温度						2(2)	2	1	1	ケース 6
		原子炉格納容器圧力						4(2)	4	1	1	ケース 1
		格納容器圧力(熱域)						1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度						2(2)	2	1	1	ケース 6
		燃料取扱用水ピット水位						2(2)	2	1	1	ケース 3
		格納容器再循環サブ水位(広域)						2(2)	2	1	1	ケース 3
		燃料取扱用水ピット水位						2(2)	2	1	1	ケース 3
		格納容器再循環サブ水位(広域)						2(2)	2	1	1	ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直前直後 B:直前直後 C:直前直後 D:直前直後 E:直前直後 F:直前直後 G:直前直後 H:直前直後 I:直前直後 J:直前直後 K:直前直後 L:直前直後 M:直前直後 N:直前直後 O:直前直後 P:直前直後 Q:直前直後 R:直前直後 S:直前直後 T:直前直後 U:直前直後 V:直前直後 W:直前直後 X:直前直後 Y:直前直後 Z:直前直後	補助的パラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	A:直前直後 B:直前直後 C:直前直後 D:直前直後 E:直前直後 F:直前直後 G:直前直後 H:直前直後 I:直前直後 J:直前直後 K:直前直後 L:直前直後 M:直前直後 N:直前直後 O:直前直後 P:直前直後 Q:直前直後 R:直前直後 S:直前直後 T:直前直後 U:直前直後 V:直前直後 W:直前直後 X:直前直後 Y:直前直後 Z:直前直後	推奨ケース				
格納容器内自然対流冷却	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	4(2)	4	1	1	ケース 6
		原子炉補機冷却水サージタンク圧力(AAM用)	1	1	1	1	②	—	2	2	0	2	ケース 6
		原子炉補機冷却水サージタンク水位	2(2)	2	1	1	①	—	2	0	2 * 1	2 * 1	ケース 4
		C、D—格納容器再循環ユニット補機冷却水流量	2	2	2	2	②	—	2	2	1	1	ケース 4
		C、D—原子炉補機冷却水温度	2	2	0	0	②	—	2	0	2 * 1	2 * 1	ケース 4
		B—原子炉補機冷却水温度	1	1	0	0	②	—	2	0	2 * 1	2 * 1	ケース 4
		格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	2	0	2 * 1	2 * 1	①	—	2	2	1	1	ケース 4
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	②	—	2	2	1	1	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	4	4	1	1	ケース 1
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	②	—	2	2	1	1	ケース 6

*1 計器取付け後、監視可能
全:すべてのグループの計器の合計数
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直前直後 延命した場合	日直前直後 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直前直後 延命した場合	日直前直後 延命した場合				
格納容器内自然対流冷却	C、D-格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	格納容器内水素濃度	1	0	0	1*1	①	—	—	5	0	5	コース 8
		操作	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
格納容器内自然対流冷却	格納容器内水素濃度	格納容器内水素濃度	1	0	0	1*1	①	—	—	13	0	13	コース 8
		原子炉格納容器内水素処理装置温度	5	5	0	0	—	—	—	4(2)	1	1	コース 9
格納容器内自然対流冷却	原子炉格納容器内水素濃度	原子炉格納容器内水素濃度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	コース 1
		原子炉格納容器内水素濃度	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

*1 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

全:すべてのグループの計器の合計数
A(B,C):当該グループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響					
				直後	A直流電源を 延命した場合			直後	A直流電源を 延命した場合				
代替格納容器スプレイ 断容断器スプレイ 断格納容器スプレイ 断格納容器スプレイ 断格納容器スプレイ 断格納容器スプレイ 断格納容器スプレイ 断格納容器スプレイ 断格納容器スプレイ 断格納容器スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	1	1	1	0	0	2	0	2	ケース 1	
		原子炉格納容器圧力	1	0	1	0	1	0	0	1	0	1	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	0	2	0	4	1	1	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	0	1	0	1	1	1	ケース 1
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	0	2	0	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	0	2	0	2	1	1	ケース 6
		燃料取扱用水ピット水位	2	2	0	0	0	2	0	2	1	1	ケース 3
		格納容器スプレイ流量	2	2	0	0	0	2	0	2	1	1	ケース 3
		B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	0	1	0	2	1	1	ケース 3
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	1	1	1	2	1	1	ケース 3

全:すべてのループの計器の合計数
AMB(O):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ 駆動機駆動用モータブラス はズレによる駆動機冷却 スプレイによる代替格納容器 スプレイ	判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	—	—	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	1	1	1	1	1
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	4	1	1	1	1	1
		格納容器圧力(熱域)	1	1	1	0	0	0	0	0
		格納容器内温度	2(2)	2	2	1	1	1	1	1
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	1	1	1
		補助給水ピット水位	2(2)	2	2	1	1	1	1	1
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	1	1	1	1	1
		ろ過タンク水位	2	2	2	0	0	0	0	0

全:すべてのグループの計器の合計数
A(B,C):当該グループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合					
代替格納容器スプレイ 清水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替 格納容器スプレイ	明 断 基 準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	格納容器圧力(熱域)	1	1	0	0	—	
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(熱域)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水レベル	—	—	—	—	—	—	燃料取扱用水レベル	2(2)	2	1	1	—
		補助給水レベル	—	—	—	—	—	—	補助給水レベル	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水 位(熱域)	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水 位(熱域)	2(2)	2	1	1	—
		代替格納容器スプレイが シブ出口積算流量	1	1	1	0	1	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
AB,C:当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合					
代替格納容器スプレイ 代替給水ポンプ水源とし た可搬型大流量ポンプ 車による代替格納容器ス プレイ	明 断 基 準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	格納容器圧力(熱域)	1	1	0	0	—	
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(熱域)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	—	—	—	—	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環ポンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
		代替格納容器スプレイが ンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	—	—	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
AB,C:当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 交流動力電源及び原子炉補機冷却機能健全時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	日直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	日直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ 原水槽を水源とした可搬型大型送水ポンプ重による代替格納容器スプレイ 判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—
		2	2	0	2	—	—	—	—	—
		1	1	0	1	—	—	—	—	—
	原子炉格納容器圧力(AM用) 格納容器内温度 燃料取扱用水ピット水位 補助給水ピット水位 格納容器再循環ポンプ水位(広域)	2(2)	2	0	2	—	—	—	—	—
		4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		1	1	0	0	—	—	—	—	—
		2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—
		2(2)	2	1	1	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
AB,C:当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器					抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器					評価	
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響			
					A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合				A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
格納容器内自然対流冷却	可搬型大型海水ポンプ車を用いたC、D一格納容器再循環ユニットによる格納容器内自然対流冷却	冷却線1L, 2L電圧	2	2	0	0	冷却線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	③	補助的パラメータ分類理由	冷却線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—
		後立幹線1L, 2L電圧	2	2	0	0	後立幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	③	補助的パラメータ分類理由	後立幹線1L, 2Lの受電状態を監視するパラメータ	—	—	—
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	0	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	③	補助的パラメータ分類理由	甲, 乙母線の受電状態を監視するパラメータ	4	1	1
		6-A, B, C1, C2, D母線電圧	7(2)	7	1	1	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	③	補助的パラメータ分類理由	常用及び非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	—	—	—
		原子炉補機冷却水供給母管流量	5	5	0	2	原子炉補機冷却水系の運転状態を監視するパラメータ	③	補助的パラメータ分類理由	原子炉補機冷却水系の運転状態を監視するパラメータ	—	—	—
		原子炉補機冷却海水流量	8	8	0	4	原子炉補機冷却海水系の運転状態を監視するパラメータ	③	補助的パラメータ分類理由	原子炉補機冷却海水系の運転状態を監視するパラメータ	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
AMB/O: 当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源交 差命じた場合	ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源交 差命じた場合		B直流電源交 差命じた場合
格納容器内自発対流冷却 可搬型大型海水ポンプ車 を用いたC、D-格納容器 再循環ユニットによる格納 容器内自発対流冷却	格納容器内温度	2(2)	2	1	①	—	4(2)	4	1	1	ケース 6
		2	2	2	②	—	2(2)	2	1	1	ケース 4
	格納容器再循環ユニット 入口温度/出口温度	2	0	2 * 1	①	—	2(2)	2	1	1	ケース 4
		4(2)	4	1	①	—	4(2)	4	1	1	ケース 4
	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	①	—	2	2	0	2	ケース 1
		1	0	0	①	—	2(2)	2	1	1	ケース 6
	格納容器内水素濃度	1	0	1 * 2	①	—	4(2)	4	1	1	ケース 1
		5	5	0			5	5	0	5	ケース 8
	格納容器内水素濃度	13	13	0			13	13	0	13	ケース 8
		4(2)	4	1			4(2)	4	1	1	ケース 9
ガス分析計による水素濃度	—	—	—			—	—	—	—	ケース 1	

全:すべてのループの計器の合計数

AMB:当該ループの計器数

*1 計器取付け後、監視可能

*2 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの取付け及び運転開始後監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的ハロメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM		直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ ポンプによる代替格納容器 スプレイ	判断基準	冷却線1L, 2L電圧	2	2	0	③	冷却線1L, 2Lの受電状態を監視する パラメータ	冷却線1L, 2L, 後志幹線 1L, 2L最終遮断警報	—	—	—	—		
		後志幹線1L, 2L電圧	2	2	0	③	後志幹線1L, 2Lの受電状態を監視す るパラメータ	—	—	—	—	—		
		甲母線電圧, 乙母線電圧	4	4	0	③	甲, 乙母線の受電状態を監視するハラ メータ	6-A, B母線電圧	4(2)	4	1	1		
		6-A, B, C1, C2, D母 線電圧	7(2)	7	1	③	常用及び非常用高圧母線の受電状態 を監視するパラメータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—		
		原子炉補機冷却水供給 母管流量	5	5	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を確 認するパラメータ	M/C補機 操作器表示 (運転状態)	—	—	—	—		
		原子炉補機冷却水冷却 器補機冷却水流量	8	8	0	③	原子炉補機冷却水系の運転状態を 確認するパラメータ	原子炉補機冷却水ポン プ操作器表示(運転状態)	—	—	—	—		
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	①	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	ケース 1	
		格納容器内湿度	3(2)	2	2	—	—	格納容器内湿度	3(2)	2	1	1	ケース 6	
		原子炉格納容器圧力	2	2	0	①	—	—	原子炉格納容器圧力	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内湿度	3(2)	2	2	—	—	—	格納容器内湿度	3(2)	2	1	1	ケース 6
		燃料取扱用ホピット水位	2(2)	2	1	①	—	—	燃料取扱用ホピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 6

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価				
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	ハロメータ 分類	補助的なパラメータ 分類理由	計器名	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
代替格納容器スプレイ B-格納容器スプレイポン プ(自己循環)による代替 格納容器スプレイ 判断基準 等		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	—	—	格納容器圧力(寒庫)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	4	4	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		格納容器圧力(寒庫)	1	1	1	1	—	—	格納容器圧力(寒庫)	1	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	1	1	1	1	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
		格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	2	2	—	—	格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後	計器名	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後	計器名				
代替格納容器スプレイ ダイセル駆動消火ポンプによる代替格納容器スプレイ 判断基準	原子炉格納容器圧力	4(2)	1	4	原子炉格納容器圧力	2	1	2	格納容器圧力(AM用)	2	0	2	—
		2	0	2	格納容器圧力(AM用)	1	0	1	格納容器圧力(狭域)	1	0	0	—
		1	0	1	B-格納容器スプレイ流量	2(2)	1	2	格納容器内温度	2(2)	1	1	—
		1	0	1	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用)	2(2)	1	2	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	1	1	—
		2	0	2	ろ過タンク水位	4(2)	1	4	原子炉格納容器圧力	1	1	1	—
		2	0	2	格納容器圧力(AM用)	1	0	1	格納容器圧力(狭域)	1	0	0	—
		2	0	2	格納容器内温度	2(2)	1	2	格納容器内温度	2(2)	1	1	—
		2	0	2	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	1	2	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	1	1	—
		2	0	2	格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	1	2	格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	1	1	—
		2	0	2	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	1	2	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	日直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	日直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ 断基車 滞水を用いた可搬型大型 送水ポンプ車による代替 格納容器スプレイ	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—
	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	—	—	—	—
	B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	0	—	—	—	—	—
	B-格納容器スプレイ流 量	1	1	0	0	—	—	—	—	—
	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	—
	格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	—
	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	—
	格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	—
	格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	2	2	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出バロメータを計測する計器				抽出バロメータの代替バロメータを計測する計器				評価			
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A相流電源を 延命した場合	抽出バロメータ 分類	補助的なバロメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A相流電源を 延命した場合	B相流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ 判断基準 代替給水ピットを水源とし た可搬型入射送水ポンプ 重による代替格納容器ス プレイ		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—
		格納容器圧力(AM用)	2	2	0	2	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
		代替格納容器スプレイポ ンプ出口積算流量	1	1	0	1	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
		B ₁ -格納容器スプレイ流 量	1	1	0	0	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—
		B ₁ -格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AM 用)	1	1	0	1	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	—
								格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—
								燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
								補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
								格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—
								燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—
						格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—		
						燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	—		
						格納容器再循環サンプ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.7 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	直後	計器名称	
代 替 格 納 容 器 ス プ レ イ 原水槽を水源とした可搬型大口径ポンプ車による代替格納容器スプレイ	判 断 基 準 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための手順等 全交流動力電源又は原子炉補機冷却機能喪失時の手順等	4(2)	1	4	原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—
		2	0	2	格納容器圧力(AM用)	—	—	—	—	—
		—	—	—	格納容器内温度	—	—	—	—	—
		—	—	—	原子炉格納容器圧力	—	—	—	—	—
		—	—	—	格納容器圧力(狭域)	—	—	—	—	—
		—	—	—	格納容器内温度	—	—	—	—	—
		—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—
		—	—	—	補助給水ピット水位	—	—	—	—	—
		—	—	—	格納容器再循環ポンプ水位(広域)	—	—	—	—	—
		—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—
		—	—	—	格納容器再循環ポンプ水位(広域)	—	—	—	—	—
		—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—
—	—	—	格納容器再循環ポンプ水位(広域)	—	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等
 格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価		
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直後電源を 延命した場合	B:直後電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A:直後電源を 延命した場合	B:直後電源を 延命した場合			
格納容器スプレイボイラ による格納容器スプレイ 断其事	炉心出口温度	1	1	0	1 * 1	②	—	—	3 (全)	3 (全)	0	ケース 1
	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	—	4(2)	4	1	ケース 6
	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	—	2	2	0	ケース 6
	格納容器内温度	2	2	0	2	①	—	—	2	2	1	ケース 6
	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	—	4(2)	4	1	ケース 1
	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	—	1	1	0	ケース 1
	格納容器圧力(狭域)	2(2)	2	1	1	①	—	—	2(2)	2	1	ケース 6
	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	—	2(2)	2	1	ケース 1
	原子炉下部キャビティ水 位	1	1	0	1	①	—	—	1	1	0	ケース 1
	格納容器水位	1	1	0	1	①	—	—	1	1	0	ケース 1
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	2(2)	2	1	ケース 2	
補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	2(2)	2	1	ケース 2	
B-格納容器スプレイボイラ 出口積算流量(AAM 用)	1	1	0	1	①	—	—	1	1	0	ケース 2	
代替格納容器スプレイボイラ 出口積算流量	1	1	0	1	①	—	—	1	1	0	ケース 2	

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数
 *1 常用系から接続を変更することで通常と同じ39点を連続監視可能

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等
 格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価	
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合		
格納容器スプレイボイラによる格納容器スプレイ	判断基準	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—
		格納容器内高レベルアラーム(高レベル)	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	ケース 1
	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	—	—	ケース 1
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	—	—	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	—	—	—	—	—	—	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	—	—	—	—	—	—	ケース 1
		格納容器圧力(AAM用)	1	1	0	0	—	—	—	—	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	—	—	—	—	—	—	ケース 6
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	ケース 2
格納容器再循環サンプ水位(広域)	1	1	—	—	—	—	—	—	ケース 1		
原子炉下部キャビティ水位	1	1	—	—	—	—	—	—	ケース 1		
格納容器水位	1	1	—	—	—	—	—	—	ケース 1		
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	ケース 2		
補助給水ピット水位	2(2)	2	—	—	—	—	—	—	ケース 2		
B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	—	—	—	—	—	—	ケース 2		
代替格納容器スプレイボイラ出口積算流量	1	1	—	—	—	—	—	—	ケース 2		

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価							
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合								
格納容器スプレインによる格納容器スプレイン作	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	—	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 1		
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	格納容器スプレインによる格納容器スプレイン作	格納容器スプレイン流量	2	2	0	0	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3	
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
格納容器スプレインによる格納容器スプレイン作	B-1格納容器スプレイン冷却器出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	3(2)	2	1	1	ケース 3		
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
格納容器スプレインによる格納容器スプレイン作	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3		
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

注:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 格納容器下部への落下した溶融炉心電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器						抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器						評価
		計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		パラムータ 分類	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	SBO影響		評価		
				直後	A直近電源を 延命した場合					B直近電源を 延命した場合	直後		A直近電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	判断基準	格納容器内温度	2(2)	1	1	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 6	
			2	1	1	①	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	ケース 6	
		原子炉格納容器圧力	4(2)	1	1	①	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	ケース 1	
			4	1	1	①	—	格納容器圧力(後継)	1	1	0	0	ケース 1	
		格納容器圧力(AAM用)	2	0	2	①	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6	
			2	0	2	①	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1	
		格納容器再循環サンプル水位(広域)	2(2)	1	1	①	—	格納容器再循環サンプル水位(狭域)	2(2)	2	1	1	ケース 1	
			2	0	2	①	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	ケース 1	
		格納容器スプレイ流量	2(2)	1	1	①	—	格納容器水位	1	1	0	1	ケース 1	
			2	1	1	①	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2	
2	0	2	②	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2				
2	0	0	0	—	原子炉格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	ケース 2				
2	0	0	0	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	ケース 2				
2	0	0	0	—	燃料取替用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3				
2	0	0	0	—	格納容器再循環サンプル水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3				

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等
 格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
代替格納容器スプレイ 代替格納容器スプレイ 代替格納容器スプレイ	判断基準	日一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	①	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	—	—	—	—	—	—
	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 6
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	①	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	ケース 6
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	—	格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	—	原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	ケース 1
		格納容器圧力(AAM用)	2	2	0	2	①	—	—	格納容器圧力(狭域)	1	1	0	0	ケース 1
		格納容器内温度	2(2)	2	1	1	①	—	—	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	ケース 6
操作	格納容器再循環サンプ水位(広域)	2(2)	2	1	1	①	—	—	格納容器再循環サンプ水位(狭域)	2(2)	2	1	1	ケース 1	
	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	①	—	—	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	ケース 1	
操作	格納容器水位	1	1	0	1	①	—	—	格納容器水位	1	1	0	1	ケース 1	
	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2	
操作	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2	
	B一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	①	—	—	B一格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AAM用)	1	1	0	1	ケース 2	
操作	代替格納容器スプレイホ	1	1	0	1	①	—	—	代替格納容器スプレイホ	1	1	0	1	ケース 2	
	代替格納容器スプレイホ	1	1	0	1	①	—	—	代替格納容器スプレイホ	1	1	0	1	ケース 2	

全:すべてのループの計器の合計数
 A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価					
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合						
代替格納容器スプレイポンプによる代替格納容器スプレイ	操作	原子炉下部キャビティ水位	1	1	0	1	①	—	格納容器再循環サブ水位(失効)	2(2)	2	1	1	ケース 1	
		燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2
		補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 2
		B-格納容器スプレイ装置出口積算流量(AM用)	—	—	—	—	—	—	—	B-格納容器スプレイ装置出口積算流量(AM用)	1	1	0	1	ケース 2
		代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	—	—	—	—	—	—	—	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	1	1	0	1	ケース 2
		燃料取扱用水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
		補助給水ピット水位	—	—	—	—	—	—	—	補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	ケース 3
		格納容器再循環サブ水位(広域)	—	—	—	—	—	—	—	格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 3
		代替非常用蓄電機電圧、電力、周波数	6	6	0	6	③	—	代替非常用蓄電機の運転状態を確認するパラメータ	代替非常用蓄電機電圧、電力、周波数(現場)	6	6	6	6	—
		6-A、B母線電圧	7(2)	7	1	1	③	—	非常用高圧母線の受電状態を監視するパラメータ	M/C母線電圧低警報	—	—	—	—	—
燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	格納容器再循環サブ水位(広域)	2(2)	2	1	1	ケース 2		
補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	①	—	—	燃料取扱用水ピット水位	1	1	0	1	ケース 2		
代替格納容器スプレイポンプ出口圧力	1	1	1	1	③	—	代替格納容器スプレイポンプの運転状態を確認するパラメータ	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	—	—	—	—	—		

全:すべてのループの計器の合計数

A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ 電動機駆動消火ポンプ又は デイジーゼル駆動消火ポンプ による代替格納容器 スプレイ	格納容器内温度 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力(AAM用) 格納容器内温度 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力(AAM用) 格納容器内温度 格納容器再循環サブ水位 (広域) 原子炉下部キャビティ水 位 格納容器水位 燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位 B-格納容器スプレイ冷 却器出口積算流量(AAM 用) 代替格納容器スプレイポ ンプ出口積算流量 燃料取替用水ピット水位 補助給水ピット水位 格納容器再循環サブ水 位(広域)	2(2)	2	1	1	4(2)	4	1	1	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—
		4(2)	4	1	1	1	1	0	0	—
		2	2	0	2	2(2)	2	1	0	—
		2(2)	2	1	1	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	1	2(2)	2	1	1	—
		2	2	0	0	2(2)	2	1	1	—
		1	1	0	1	2(2)	2	1	1	—
		2	2	0	0	—	—	—	—	—
		2	2	0	0	—	—	—	—	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

〔 〕の範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等
格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価			
		計器名称	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	補助的パラメータ 分類理由	計器名称	計器数 ()内はPAM	直後		SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ 電動機駆動消火ポンプ又は ディーゼル駆動消火ポンプによる代替格納容器 スプレイ	操作	格納容器内温度	2(2)	2	1	1	—	—	—	4	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	1	0	0	—
		格納容器内温度	2(2)	2	0	2	—	—	—	2	1	1	—
		原子炉格納容器圧力	4(2)	4	1	1	—	—	—	4	1	1	—
		格納容器内温度	2(2)	2	2	2	—	—	—	2	1	1	—
		原子炉下部キャビティ水位	1	1	1	0	—	—	—	1	0	0	—
		格納容器再循環サンプ水位(仮装)	2(2)	2	2	2	—	—	—	2	1	1	—
		格納容器水位	1	1	1	1	—	—	—	1	0	1	—
		燃料取扱用水ピット水位	2(2)	2	2	2	—	—	—	2	1	1	—
		補助給水ピット水位	2(2)	2	1	1	—	—	—	2	1	1	—
同一格納容器スプレイ管 出口積算流量(AM 用)	1	1	1	0	—	—	—	1	0	1	—		
代替格納容器スプレイ管 出口積算流量	1	1	1	0	—	—	—	1	0	1	—		
通水タンク水位	2	2	2	0	—	—	—	2	0	0	—		
AM用消火水積算流量	1	1	1	0	—	—	—	1	0	0	—		

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。

重大事故等対処に係る監視事項

1.8 原子炉格納容器下部の溶融炉心を冷却するための手順等 格納容器下部への落下した溶融炉心の手順等(交流動力電源及び原子炉補機冷却機能が健全である場合の手順等)

対応手段	項目	抽出パラメータを計測する計器				抽出パラメータの代替パラメータを計測する計器				評価
		計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	計器数 ()内はPAM	直後	SBO影響 A直流電源を 延命した場合	B直流電源を 延命した場合	
代替格納容器スプレイ 電動機駆動消火ポンプは はディーゼゼル駆動消火ポンプ による代替格納容器 スプレイ	原子炉下部キャビリティ 水位	1	1	0	1	—	—	—	—	—
		1	1	0	0	—	—	—	—	—
		2	2	0	0	—	—	—	—	—
格納容器再循環サブ水 位(表取)	格納容器再循環サブ水 位(表取)	2(2)	2	—	—	—	—	1	1	—
		2(2)	2	—	—	—	—	1	1	—
		2(2)	2	—	—	—	—	1	1	—
格納容器再循環サブ水 位(表取)	格納容器再循環サブ水 位(表取)	1	1	—	—	—	—	0	1	—
		1	1	—	—	—	—	0	1	—
		2	2	—	—	—	—	0	0	—
AM用消火水積算流量	AM用消火水積算流量	1	1	—	—	—	—	0	0	—
		2	2	—	—	—	—	0	0	—
		2(2)	2	—	—	—	—	1	1	—

全:すべてのループの計器の合計数
A(B,C):当該ループの計器数

この範囲については、技術的能力の審査進捗を踏まえて今後修正を行う。